

尚古鏡色一覽

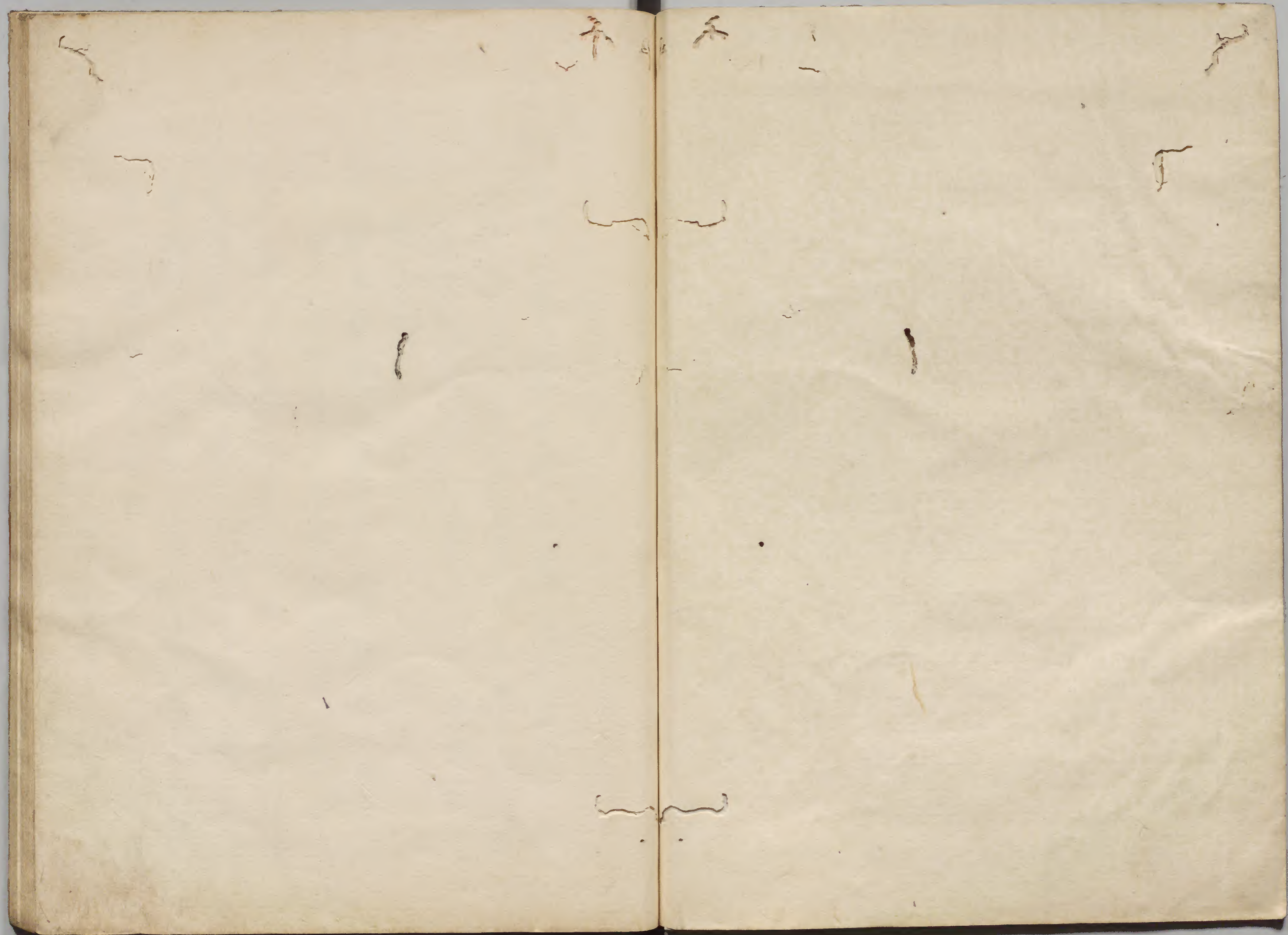
走

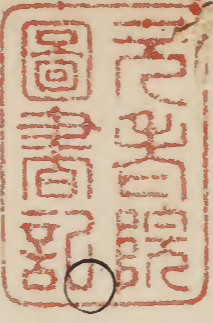
和書・門
九二〇〇
一九〇〇
二册架

76
庫文閣内
和書
九二〇〇
五册架

内閣文庫	
番號	和 9200
冊數	2 (1)
函號	154 76







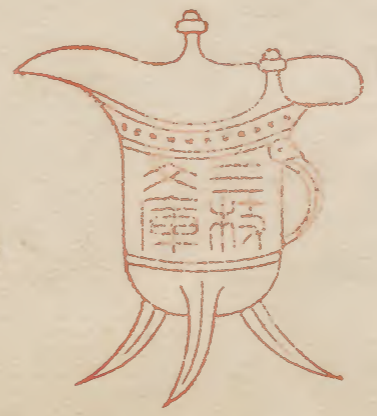
凡例

和書し毛紙図説先と云はるるは其の意を以てし
又中ふふたふらうつししも字も其何れ
と云ふれは其はめと袖とつししを重なる
一助と云ふ



此圖は解後紙加ふるハ日記物と云ふの未だ
よの里と云ふの後と云ふは其を論と云ふ予
と云ふはつしし物の云ふは其後何れと云
と云ふは其の云ふと出しし観圖よたよの
所謂何れひらかかしと云ふしし物の説を
参考す

○ 名目ハ自らなつてはるる何れと云ふ古と云ふは



そのかき置きの本紫紙抄出をししむる所の
名紙ありけり人もたゞししむれし
のちしむるにさししむるの引きしむる
ちしむるなり

○古物存在しし文書に及ぶこと後ハ其れあり
つゝにハととつて所蔵の大転と志るは

○古物新出ハ初り画名と志毎し再出ハうら
一二字と出ハ保元等のうら新出ハ保元等
よりり出はの類あり

○いろ目き袖のさししむるの志は後細きより
わししむるし又よろひ膠巻銅丸方差ありハ
おきし誌ししむるむし

○旧形よよろひ丹青と志し或ハ古物の中より
うつさしむるも光潤澄沈さし保あり入しむ
けりしむる唯紫紺緑標と志するあり

○古きよろひ紙綴る科と懸緒つひと志相違ハ緒通の
略言或ハ融とと志たし紙のさしむるのうら
鬼の字と志の用ひししむるも志る威乃字
綴乃字紙のさしむるは

○草草剛柔出さしむるの志ししむる草の字と
用ひ古物たしむるも志るしむるは是れを
察ししむる紙はさしむるなり

○名ありしあなまのあはれしむる名やえしむるの
何れもは替つしむるのしむるはしむるは


~~~~~

○古よ新ひお傳の候家々志るはありと心うつらるる處可有  
或る古製より倣ひ新調し取らぬ〜何の〜  
備のあたりの古風を存するもあはれ〜そのあ〜  
のき〜倣ハ暇るふ〜あはれ〜

○此の圖と編輯に〜も予圖より寡穢は〜  
因り〜し〜れ〜も跡脱るる處〜及〜  
た〜し洋名〜も〜の〜は通〜し補〜し〜  
りまた辨明せらるるもの何の姑〜圖〜出〜  
編よの〜は後々翻編も出〜あり

天保六年正月

# 尚古鎧色一覽上

一覽

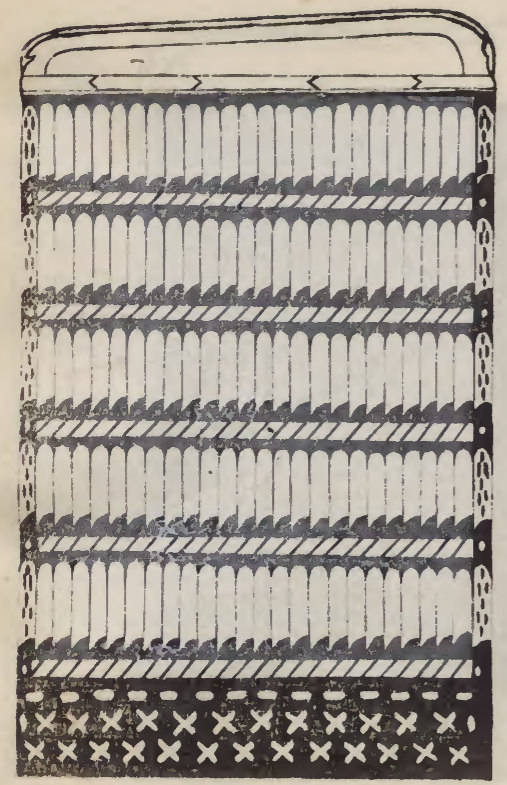
本間源百里輯

あうりたし  
白絲織

▲雲物日御時社蔵是也

あやとどし  
白綾綴

あやおどし  
白唐綾威



ねりぬき  
練緯威

白きも阿るあや福よ添てお〜したる  
の如いろ同より〜えな〜き〜  
余乃色をある〜なり

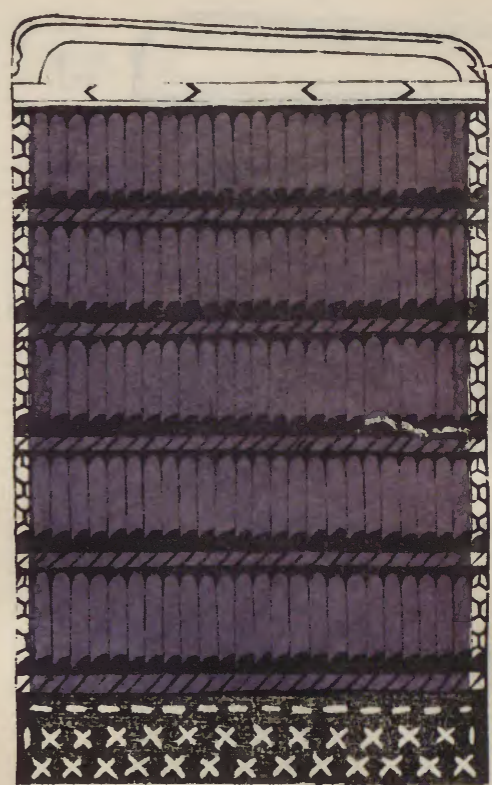
あが  
洗草威

あ〜い草ハ〜の〜白〜  
いろ〜の〜末〜

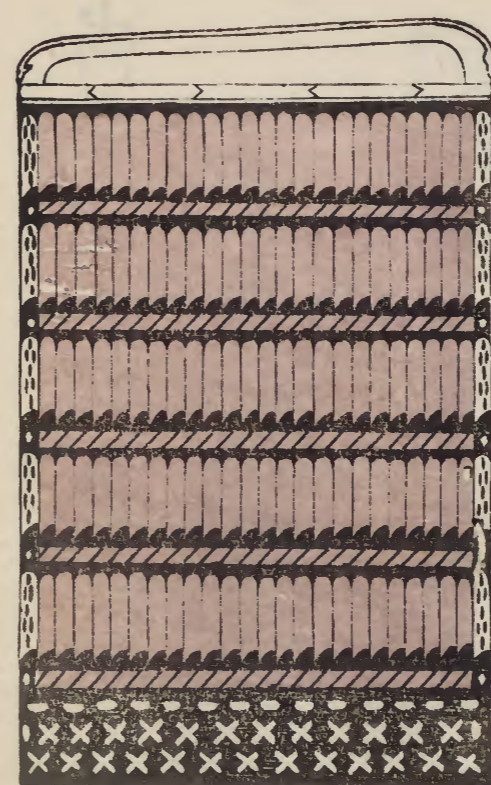


紫威

きくろく糸草をさくつぬ時、  
糸草をさくつぬ時、  
糸草をさくつぬ時、



浅紫威



紫線鎧

山城藤森社蔵是也

紫線鎧甲

紫草鎧

皆いろ目より異なるものありてハ  
その名のうと出づる也

藤鬼

あついろハ淺紫をさくつぬ時  
なるハ名跡出づるものありて  
又藤乃む咲かたりたるものあり  
たついろハ藤乃む咲かたりたるものあり  
また藤乃む咲かたりたるものあり

紫坐濃著長

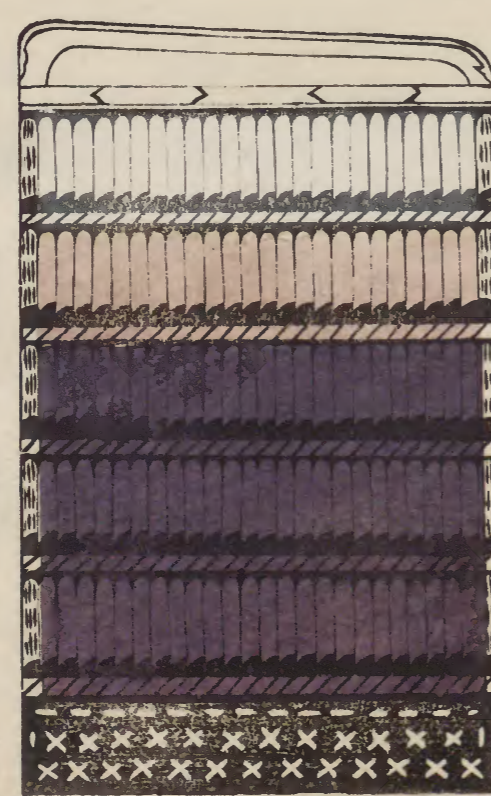
十段圖  
後三年繪



同上 武州御嶽山社蔵  
古鎧是也

同上

清水寺縁起



下濃ハ正色より次方にあついろを  
へきつて祝志をさくつぬ時、  
あついろハ正色よりあついろハ  
あついろハ正色よりあついろハ  
あついろハ正色よりあついろハ  
あついろハ正色よりあついろハ  
あついろハ正色よりあついろハ



紅威

糸草をかきしつゝ紅威をよて  
そむくあやかし總名なる

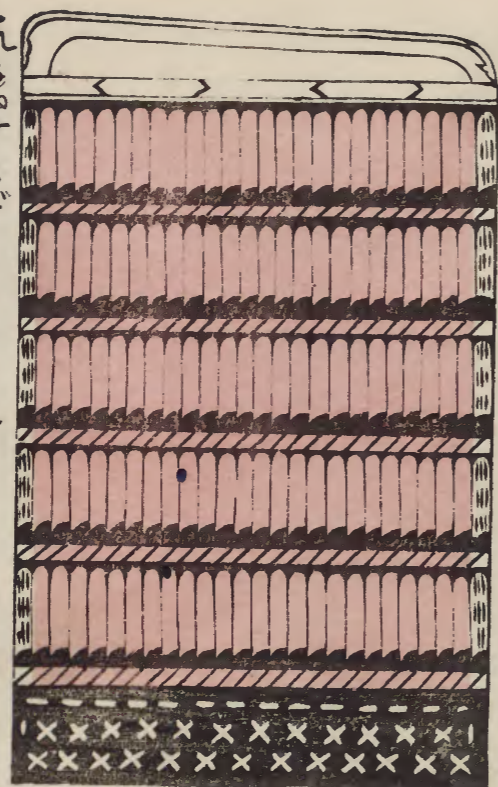


赤威

糸草をかきしつゝ赤威をよて  
そむくあやかし總名なる

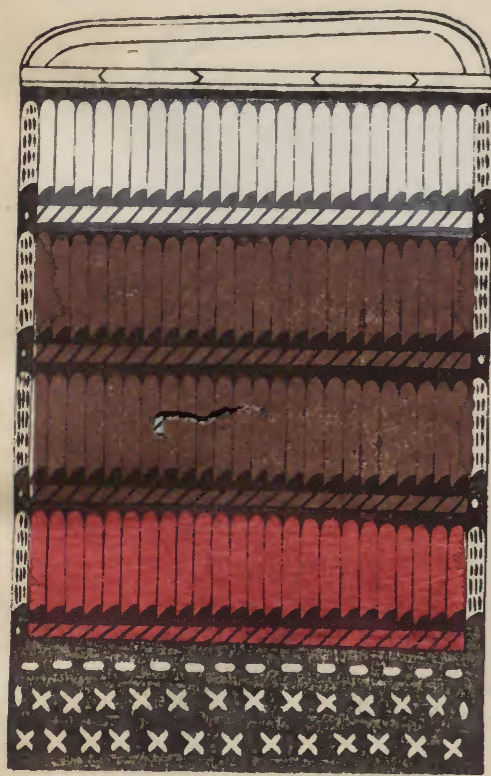


薄紅威



紅下濃

十界  
後三年



緋威 緋威

糸草をかきしつゝ緋威をよて  
そむくあやかし總名なる

火威物具

糸草をかきしつゝ火威物具をよて  
そむくあやかし總名なる

氷魚威

異字なり

日威

古き見え

赤絲威

經朝臣甲冑

山崎三郎

青波和袴

同孝日神庫竹子雀金具目

武内侍あけ畠山重忠目

見亦皆苗

赤草威

是威

紅梅威

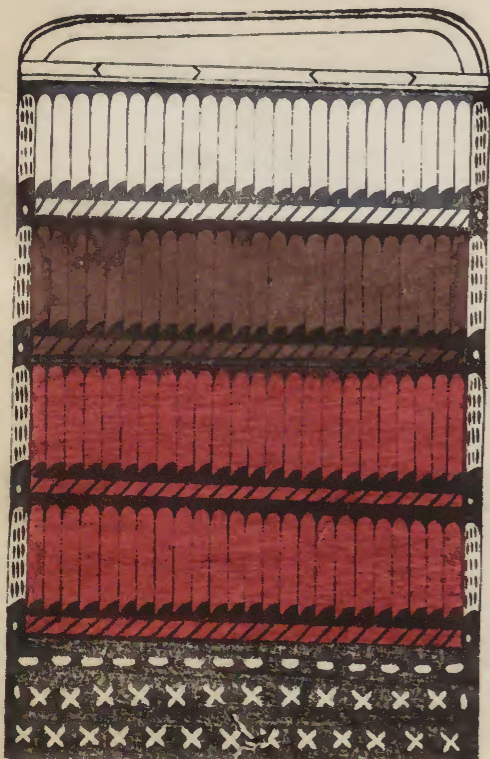
うすしつゝ紅梅威をよて  
そむくあやかし總名なる

韓紅威

糸草をかきしつゝ韓紅威をよて  
そむくあやかし總名なる

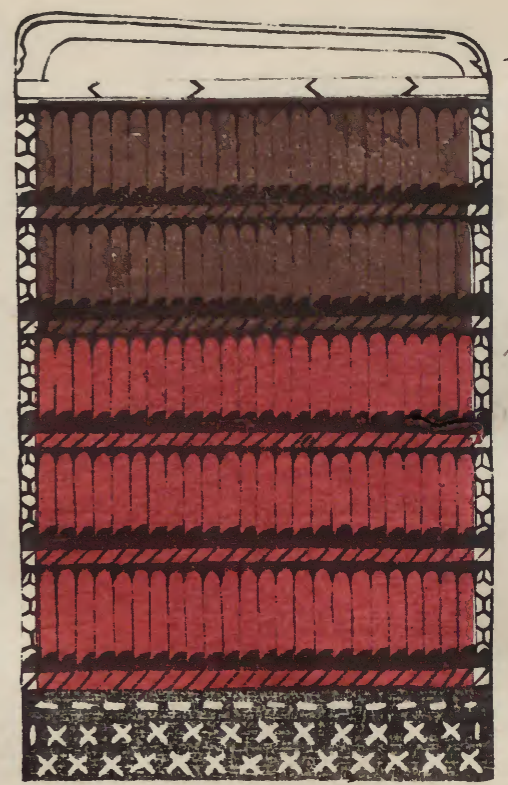
同上

大須磨三郎画

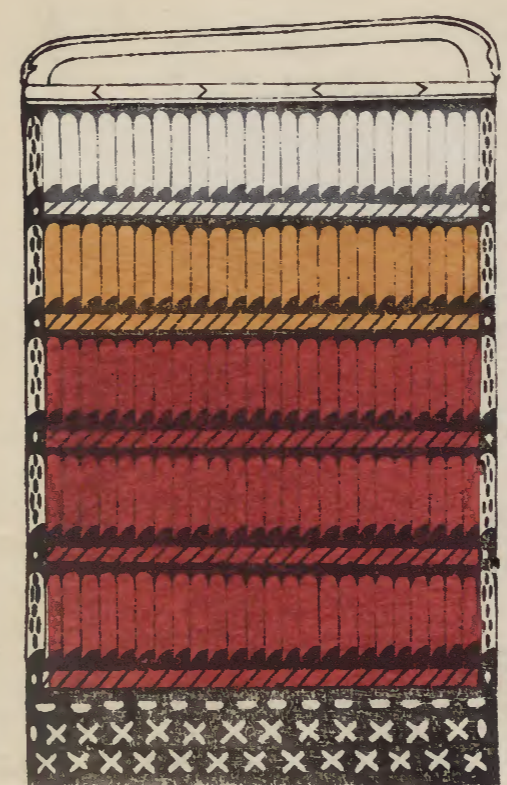




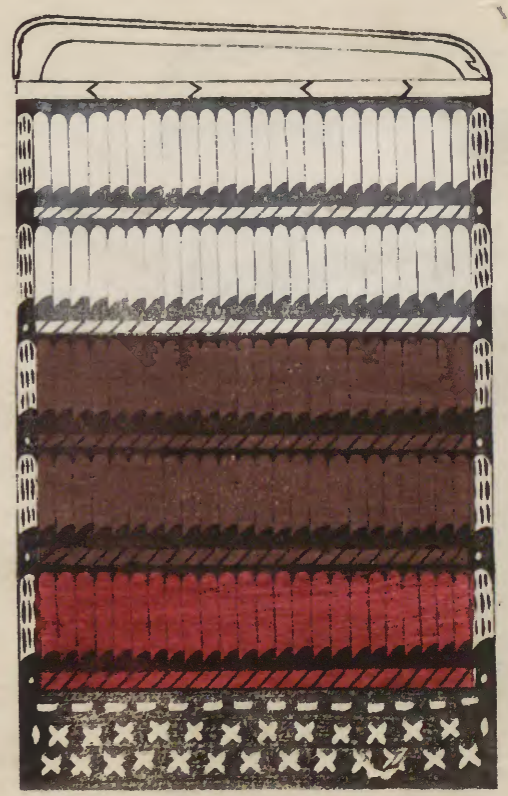
同上



同上 清水寺



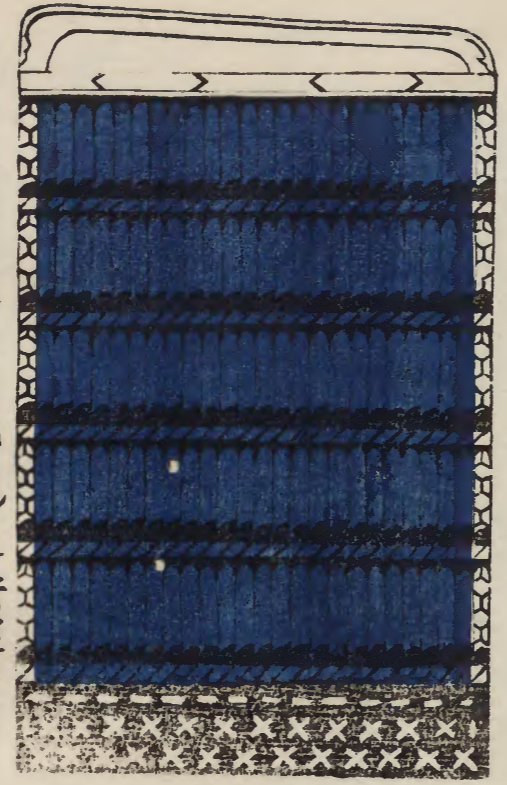
同上 蒙古鎧本圖



唐紅裾襪

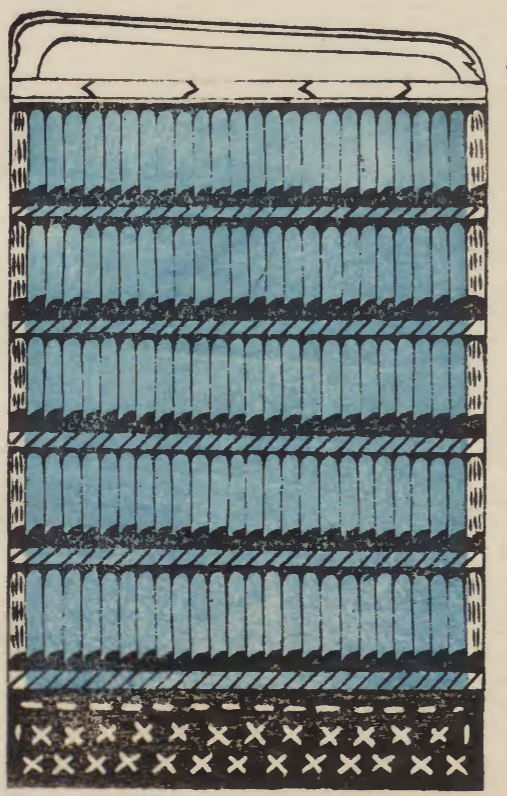
かきくれおすうと  
かきくれおすうと  
あししりあし

緑深鏡



浅木威  
▲巖島社藏義家將軍  
甲冑此色は統率相也

濃浅蔥威



浅黄綾威

▲吉野南帝御勅弁宗須家  
百一甲冑等是之

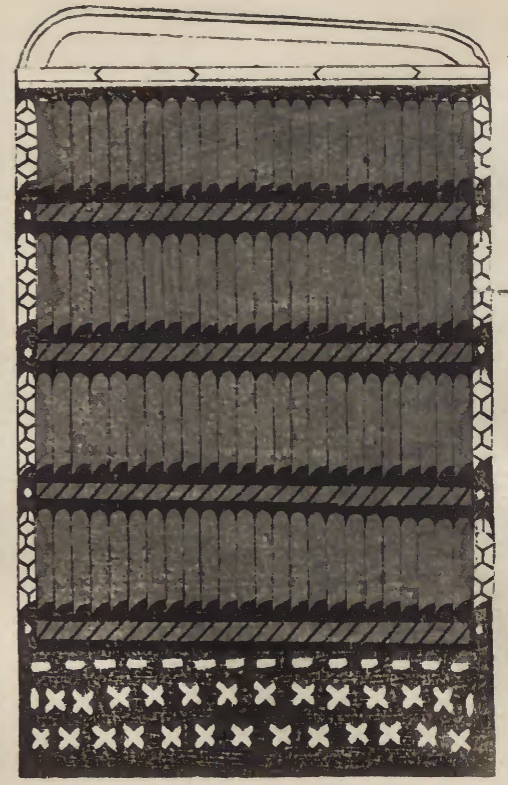
是未乃いろのみどり  
くひあさきよ  
まきまのりなれハ名めと出す

藍草威

いつく島嶼新羅云即ち先の  
甲冑こまなり

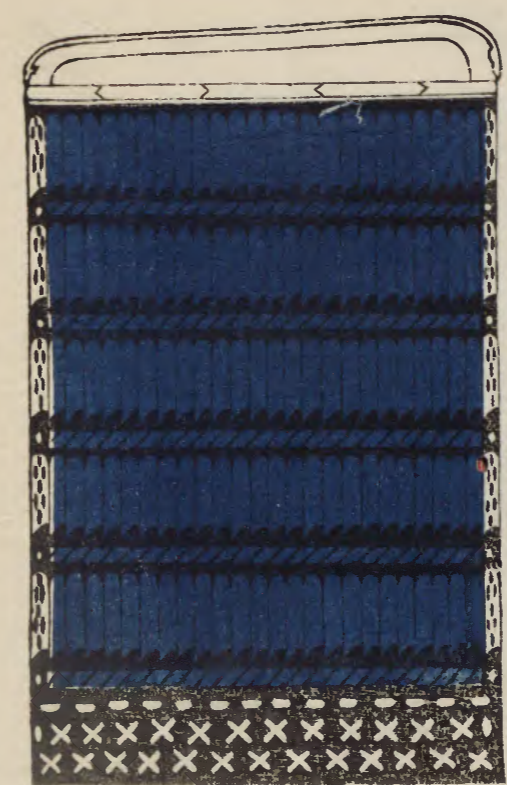


黒絲威



紺系威

あんの青に  
赤とふくむ



黒草威

黒草威 向來日神存蔵  
とろかんの二寸五分  
たろくたろくたろく  
たろくたろくたろく  
たろくたろくたろく

黒唐綾威

黒唐綾威

たろくたろくたろく  
たろくたろくたろく

紺唐綾威

異邦乃製と賞玩七しあや

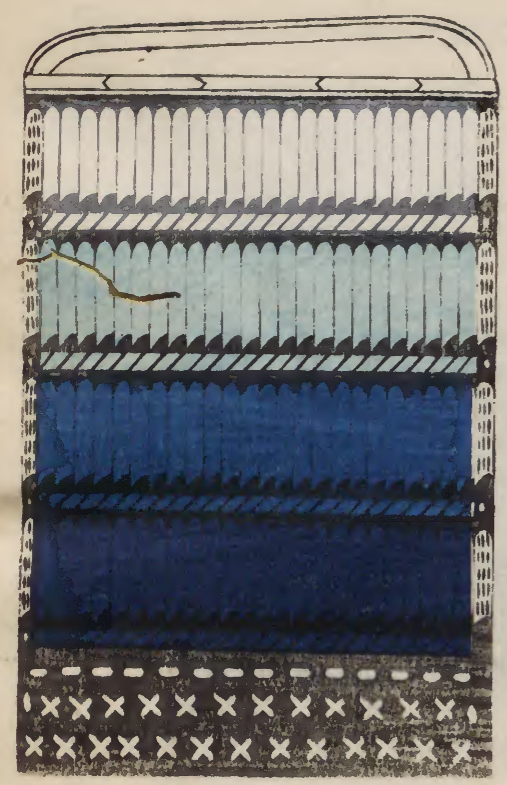
嚴嵩社蔵小松内府重盛  
石清水日義家朝臣  
右紺系威也

褐練貫威  
此布乃色も何るし

藍染之掃物なる掃物なりと  
賞美なる掃物なりと  
みどりあんにあつたれは  
出さるるをいふ

紺末濃

十畧  
三三

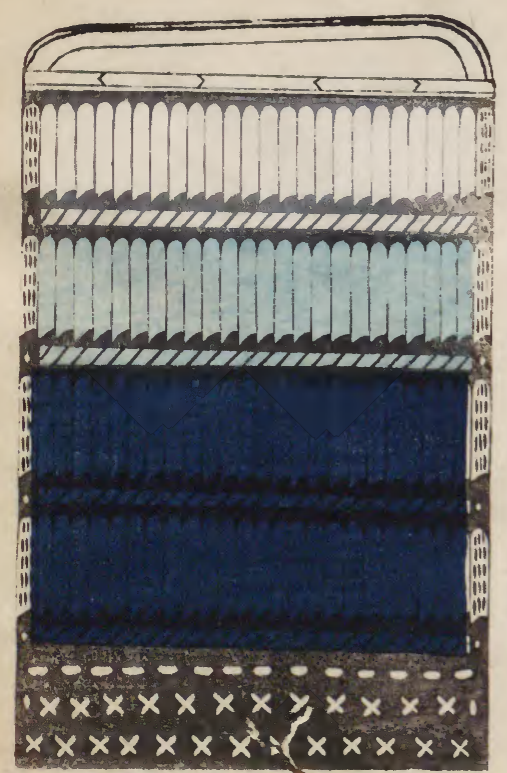


勝色威

近世掃物色をかく掃物なり  
又掃物なりハ或ハかちん白と  
通稱するも後あり

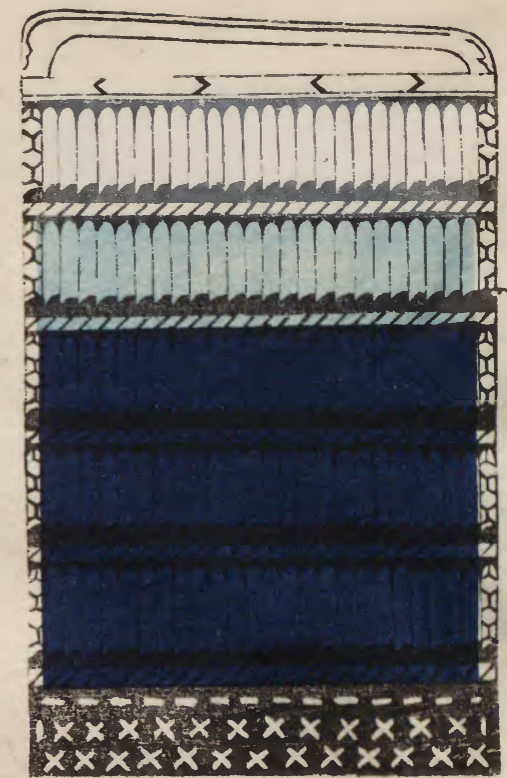
同上

春日驗記

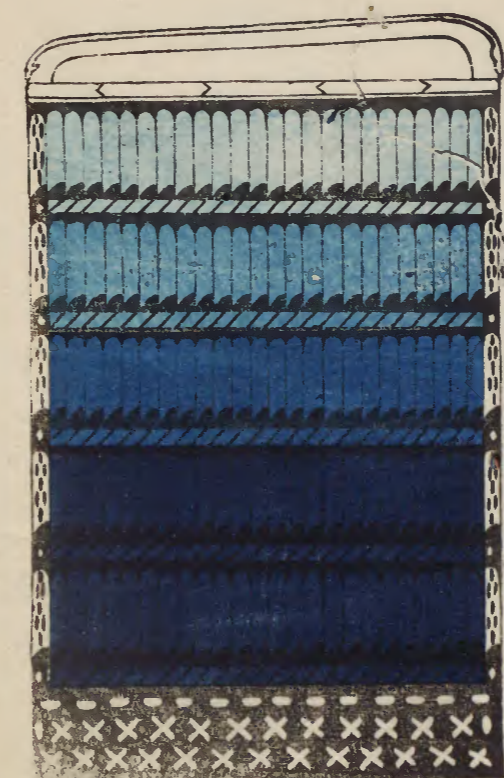




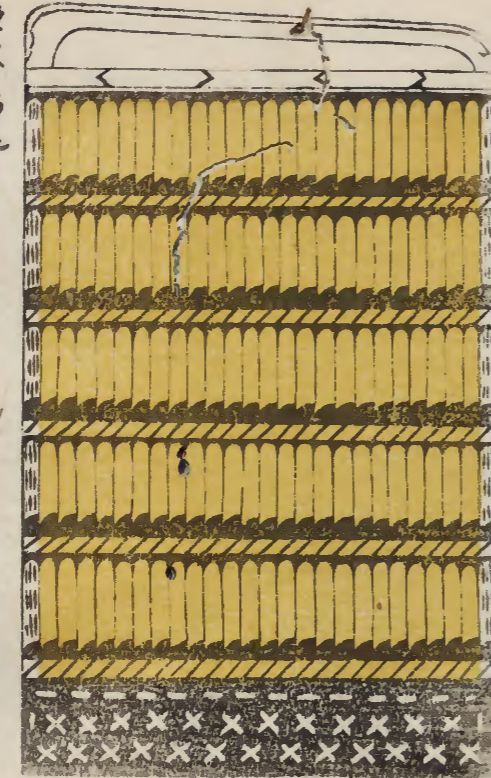
同上  
清みぎ



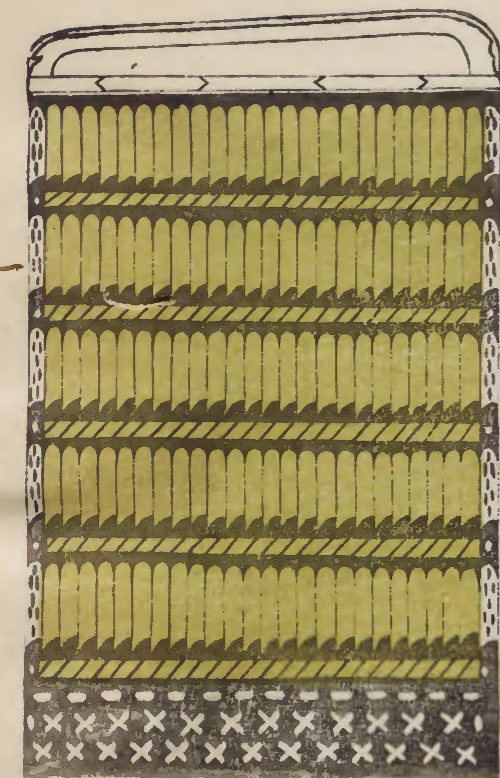
同上



黄  
緑  
威

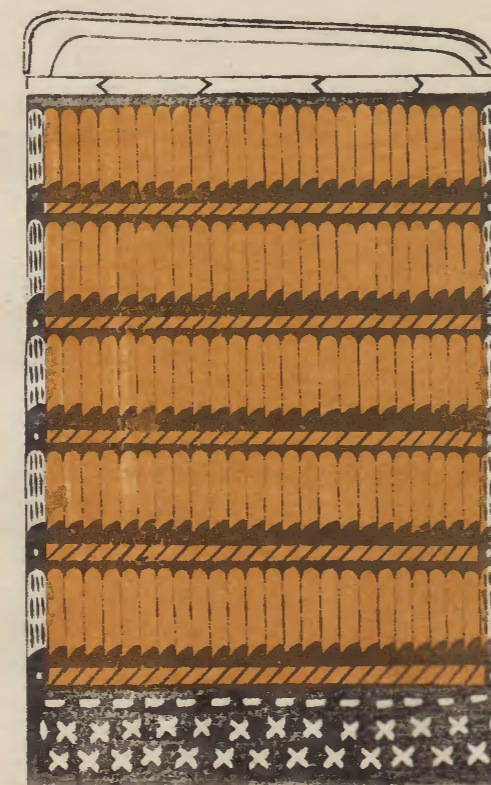


麴  
塵  
威



未濃ハ其色より硬子あつすいさり  
説かよりいさりいさり色よ  
まゆへうきさるものありされハ  
色を申すに上ふうすきと  
用ひて一方極小白と云ふは裾を  
な厚もあつたりおとすつらぬれ  
又白おろハ此末濃おほぬぬる  
正色よりいさり薄くしつて終り白と  
いさりぬるものなり

朽  
葉  
色  
唐  
綾  
威



此色用ハ青色或ハ赤色のほろり  
りりりふふ俗名山姥色といふ  
又織物なれハ多ク赤青色の  
文様ハ黄ハ何れもなるなり





同異制衣

春日  
一遍上人画



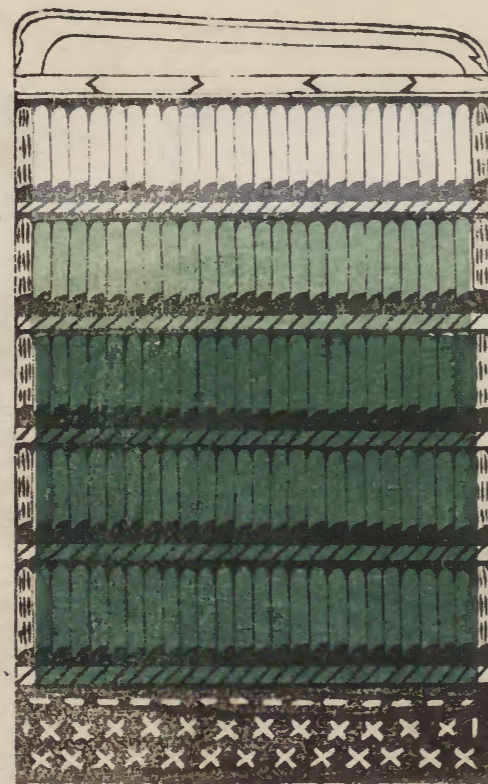
同上

蒙古



同上

前九年画



同上

清和寺



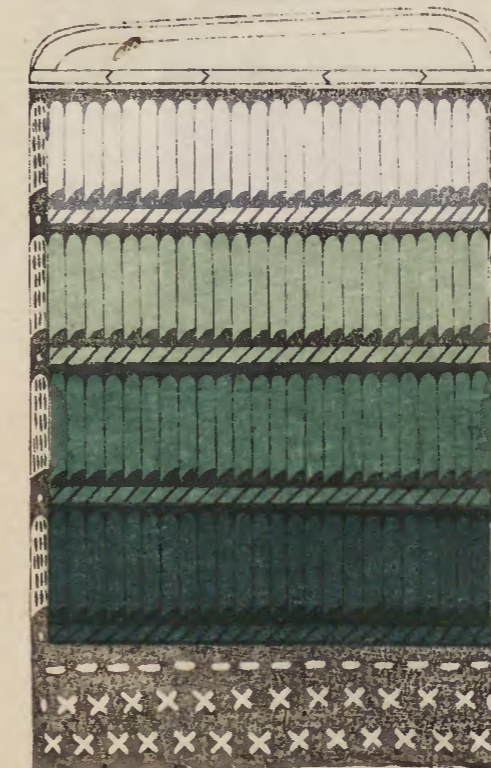
菊木  
裾濃

春日



北朋  
黄線綴

色なきいしおとし



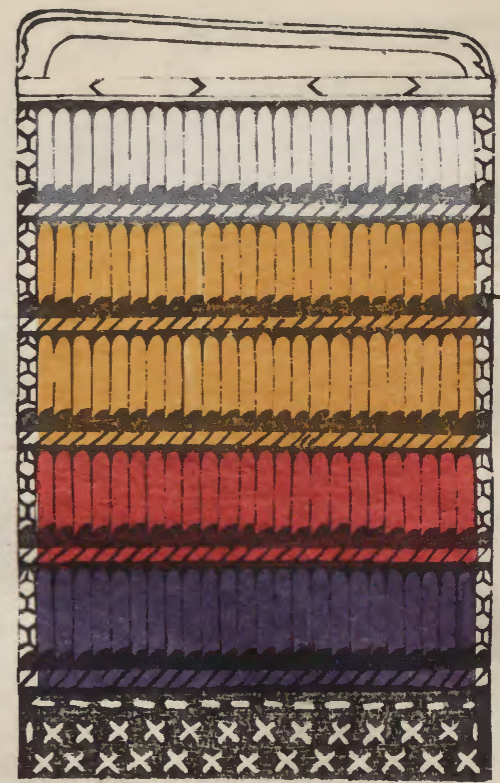
同上

後三年  
春日

甲冑はすきふとりのあはれをわらわたり  
かきまの後何りあうれも既下徳  
ありあまの古画よりあくすすまご  
乃建ハ先ら愛お前木の下流と出  
他のいしおとしあはれすまごの  
又名乃ささるるすまごの  
福一了亦その次にあはれ



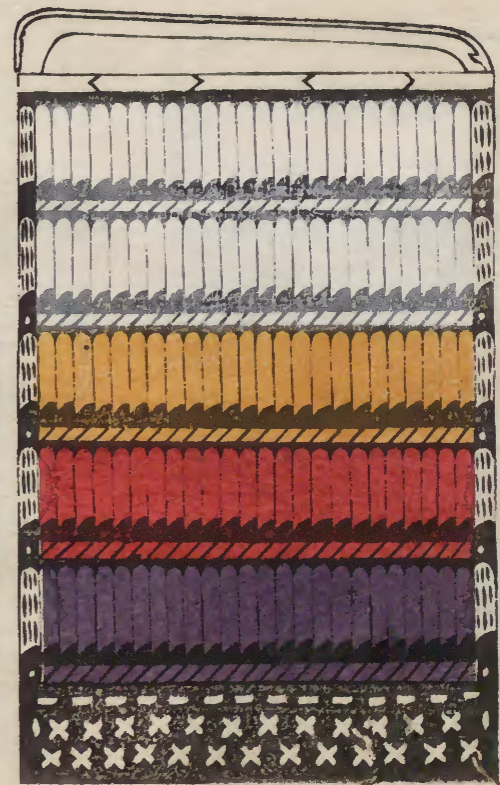
同上目



同上目

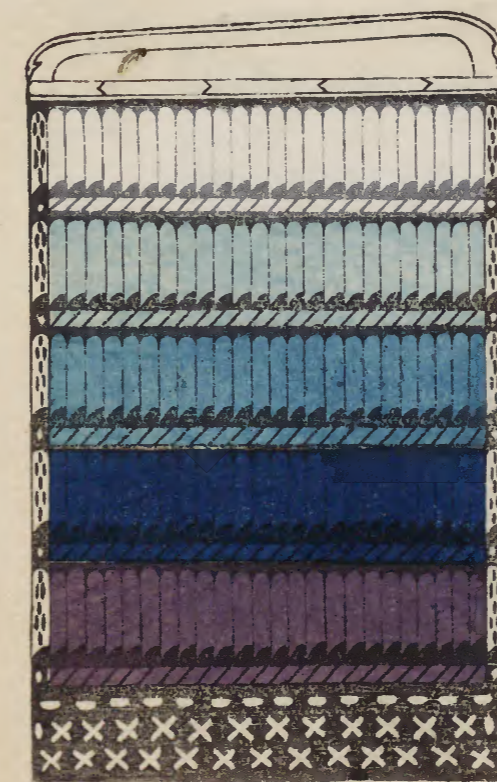


同上目

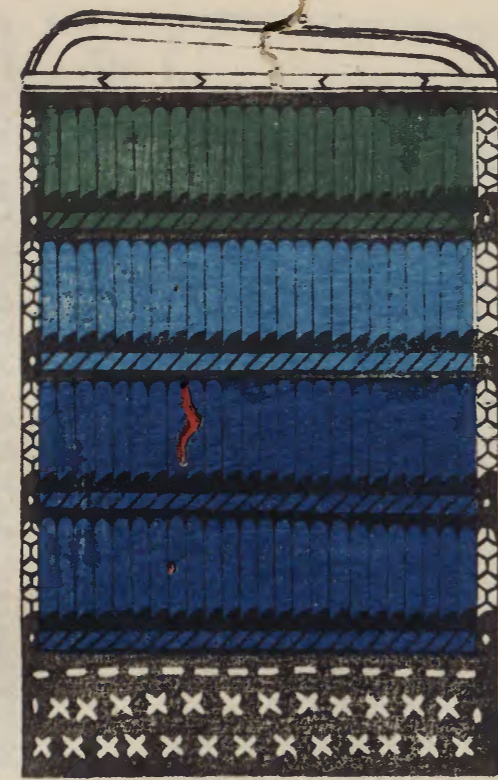


同上

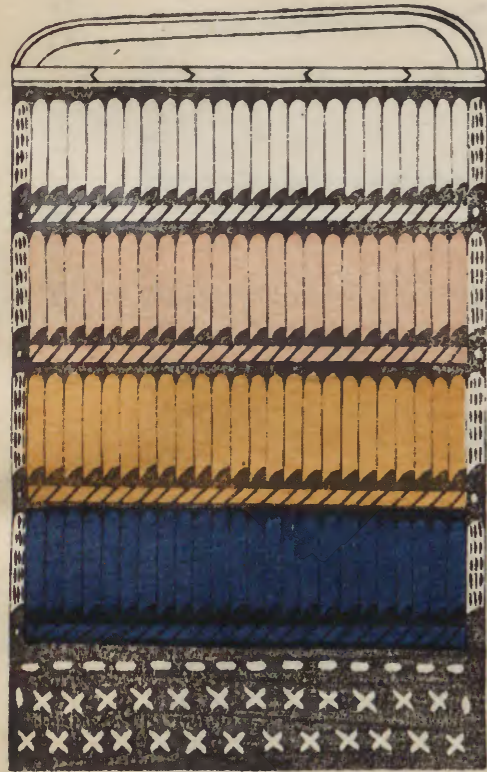
蒙古



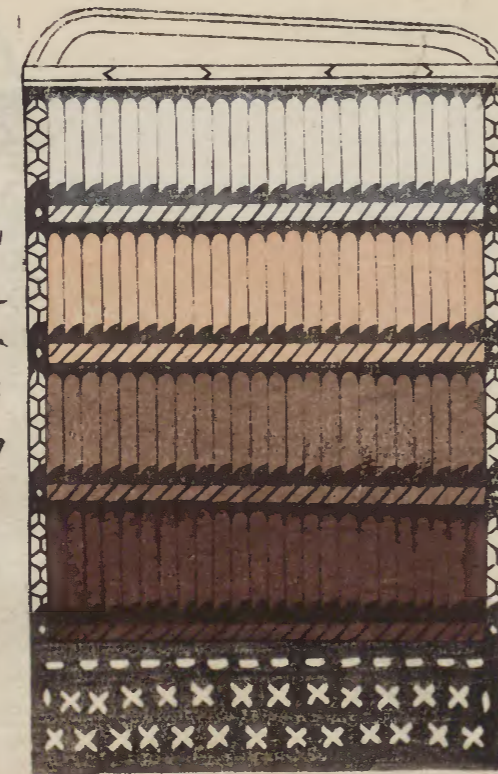
同上  
保元平治画



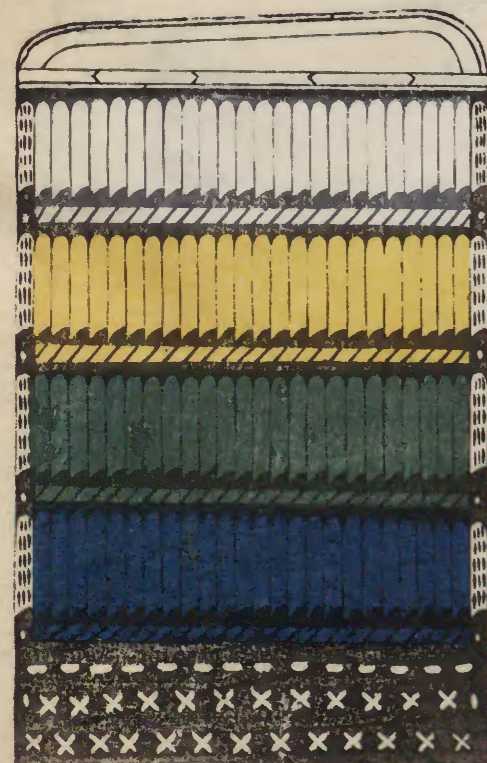
同上  
春日



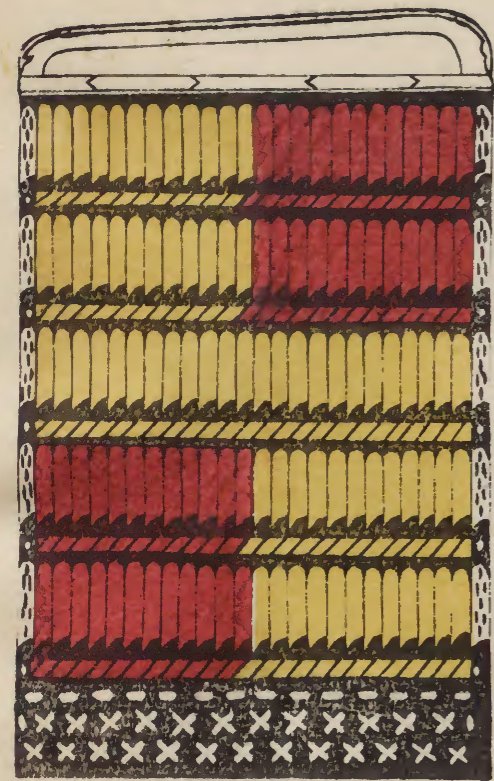
同上  
保元平治  
一谷画



同上  
或家平治画

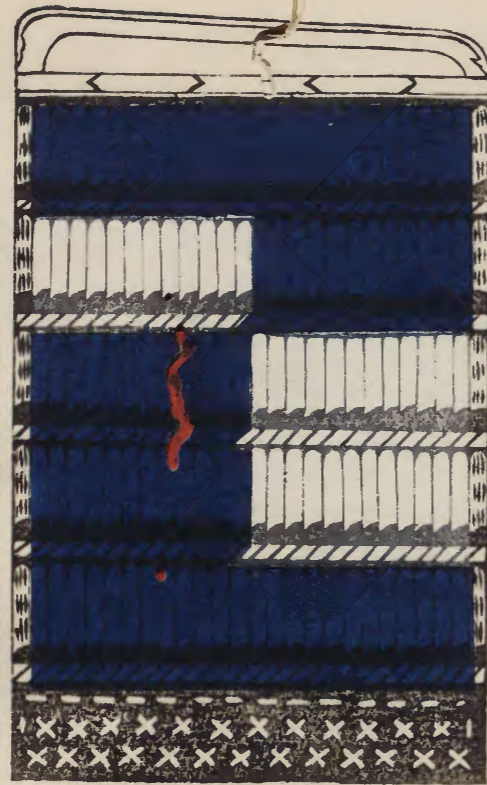






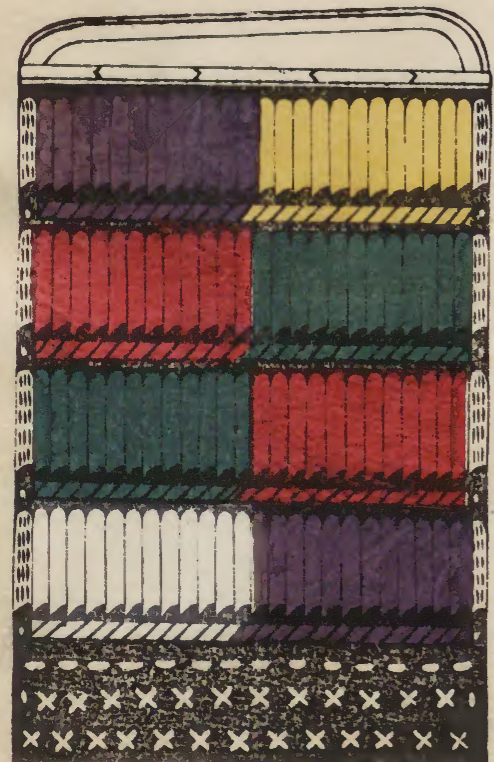
いろくつむらご  
色々村濃

伴大納言

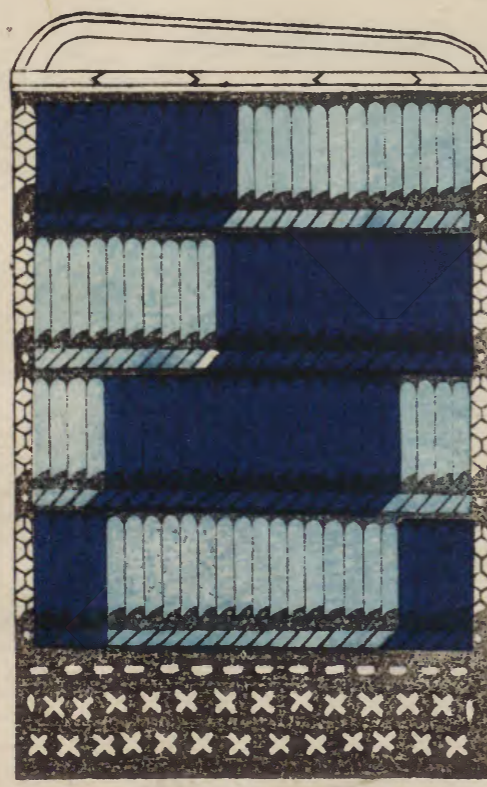


えむらご  
紺村濃

伴大納言



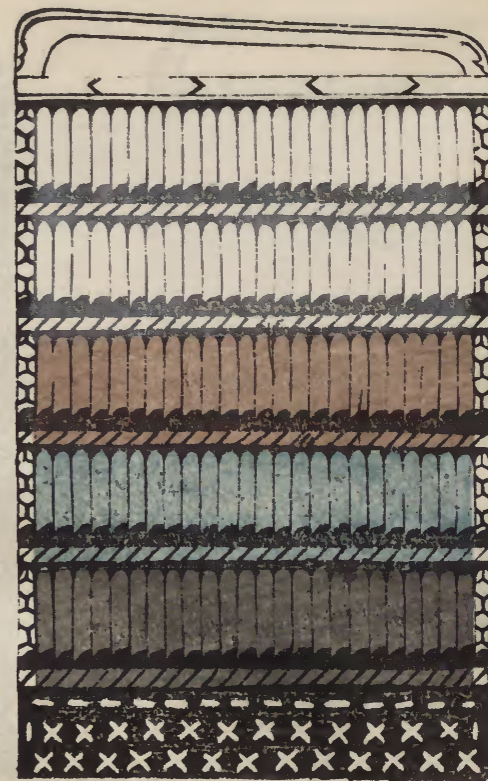
同上  
春日



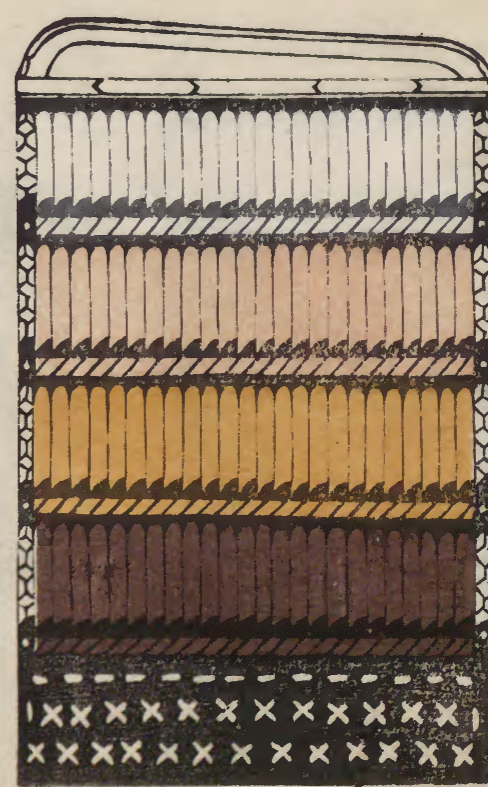
同上  
一説



ふえきくろ  
阿やす  
上崩木唐綾坐紅



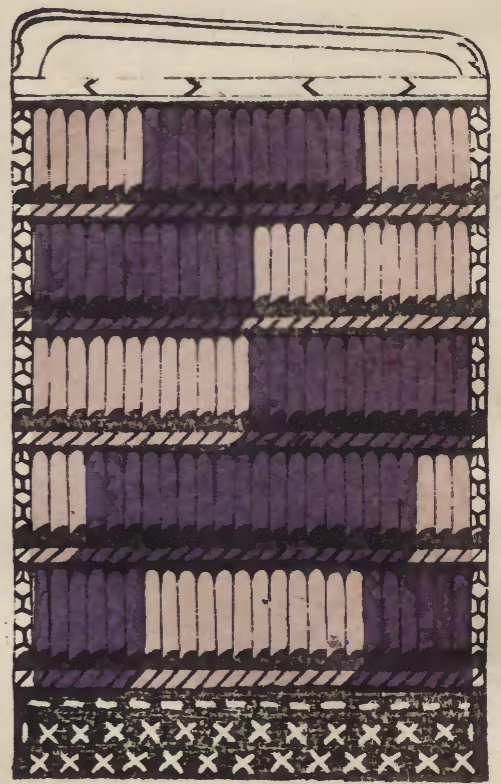
同上  
蒙古



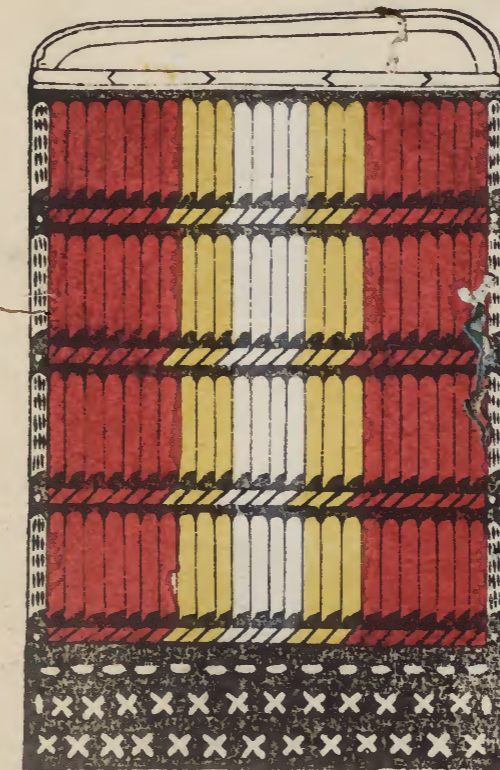
同上  
春日  
平治  
保元



紫村濃 一説



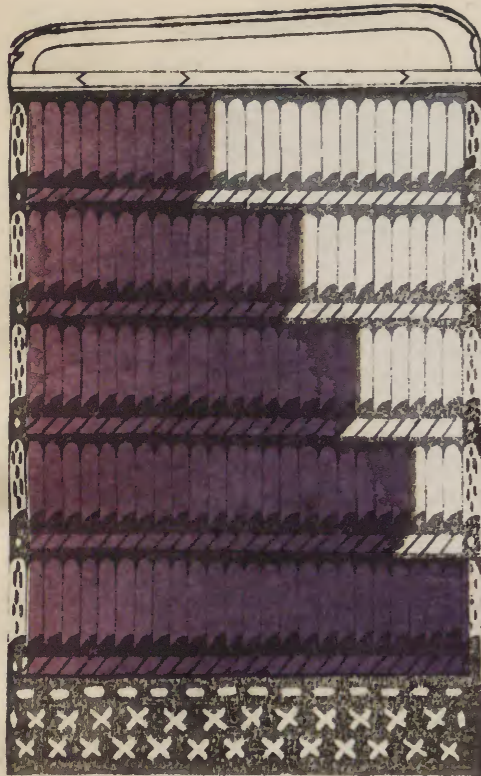
耳坐滋 伴大納言



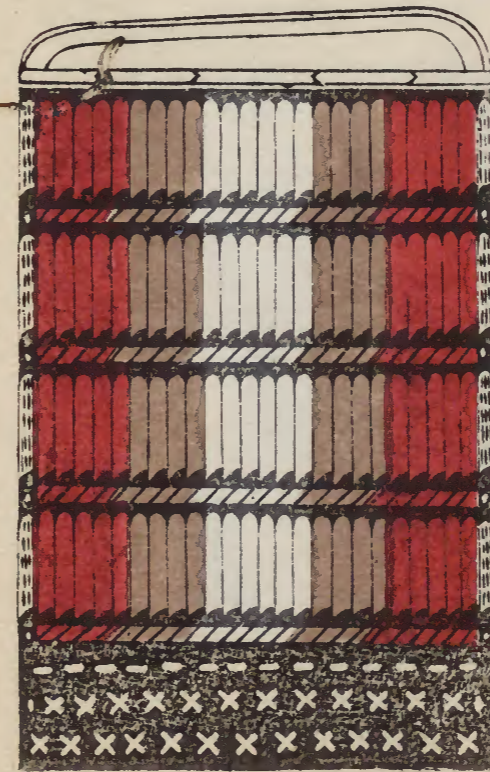
赤威肩白鑑



紫絲肩白威



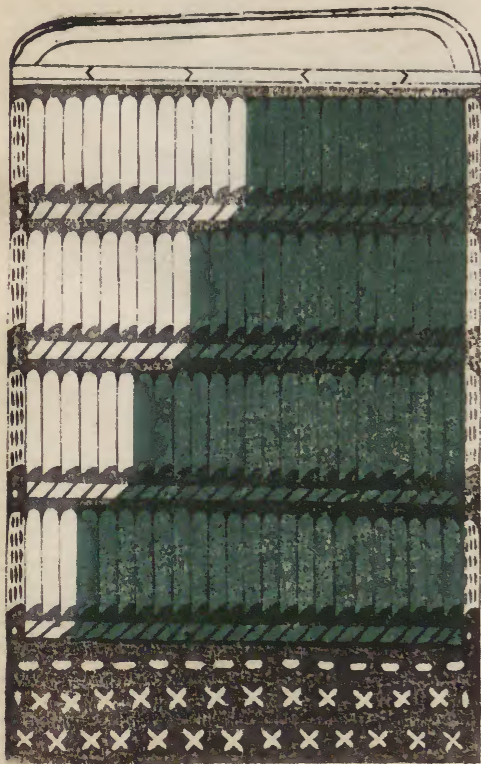
同上 後三年



赤草肩白

或ハ  
 如く白は袖に二の板と云ふ糸を  
 おくしたるなりやいふ説あり予ハ  
 赤草しするものを見及んば  
 何るくの強きと云ふなり

萌木絲肩白威 保元 平治

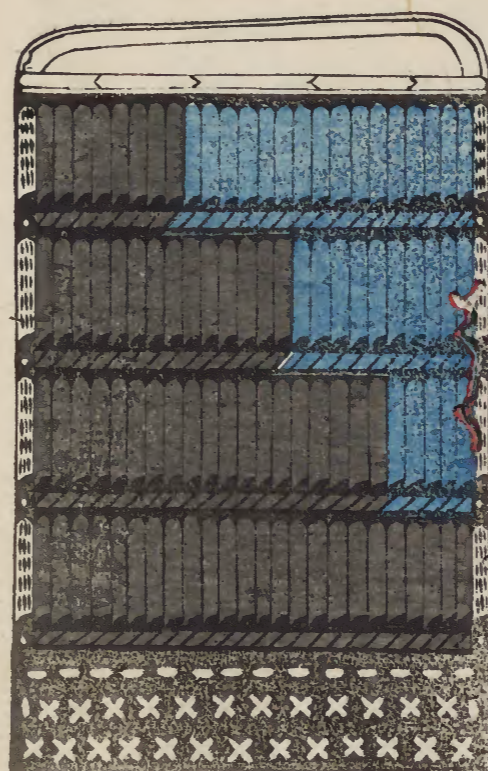




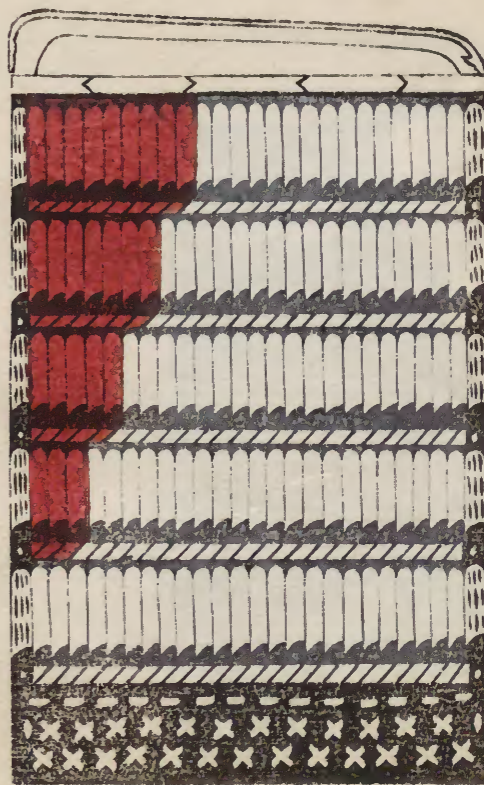
紅糸肩紫威



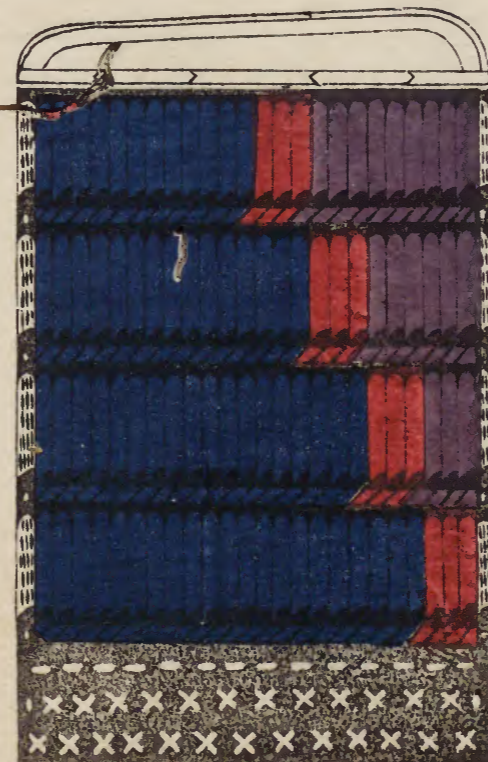
黒草肩浅木威



白糸肩赤威



紺糸肩紫紅威

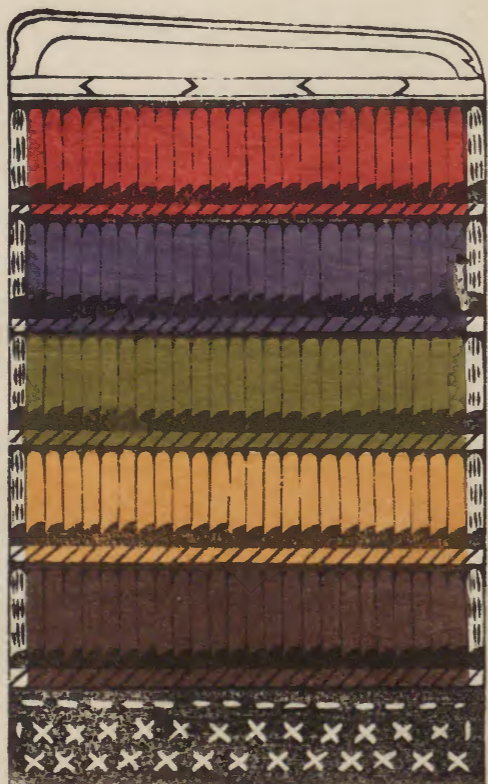


檀勻威

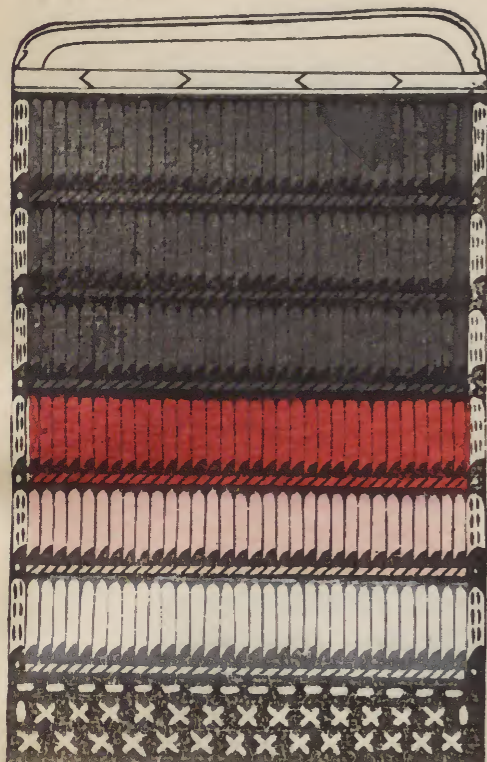
清水吉



同 一説



黒糸威下 端 勻 鎧

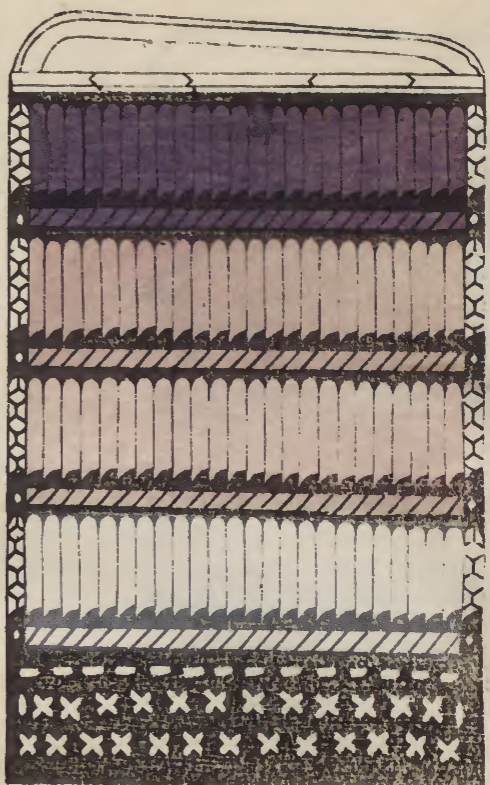


此すすこれあゆましあはひしるハ  
ましと有ハセーろりハ概ハ  
あるハしハのあ祝あり是如と  
おとよハハハハハハハハハハ  
西ハハハハハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハハハハハハ

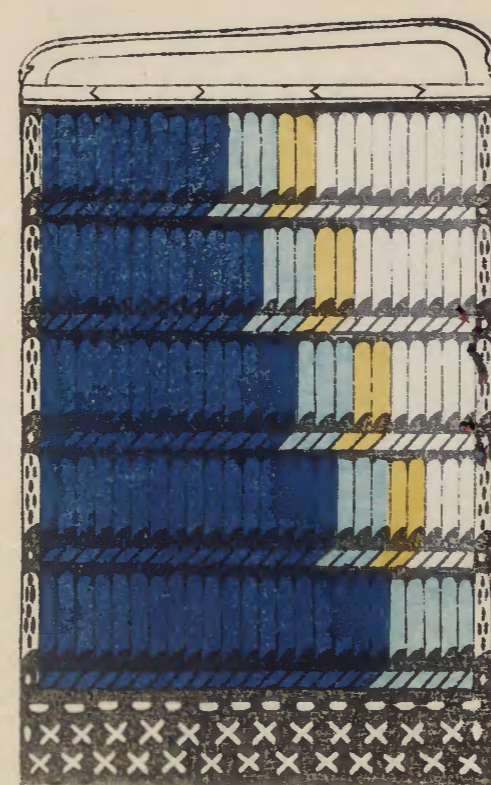


紫勾威

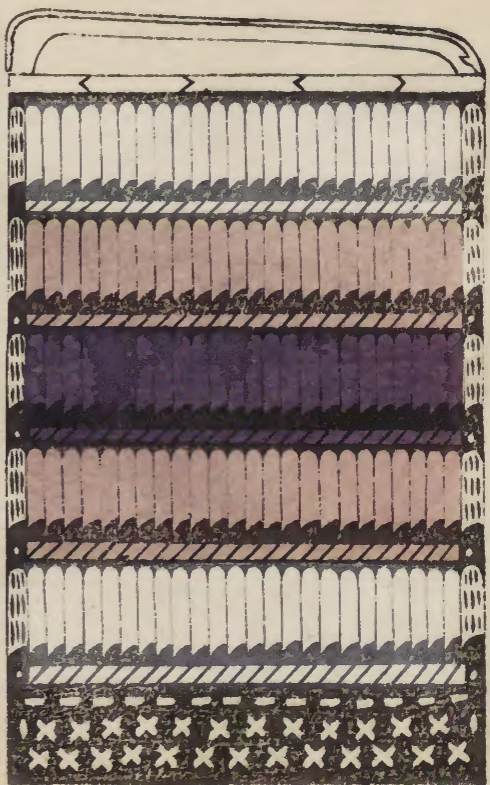
後三年



白肩白綴



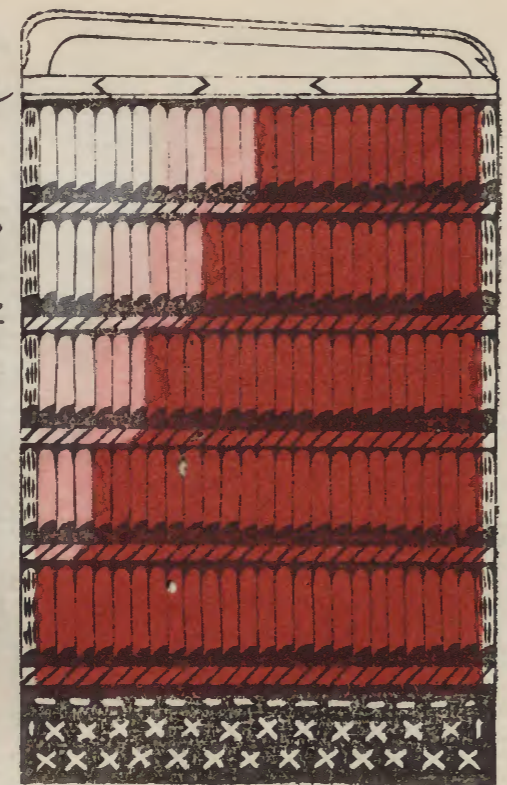
同上 一説



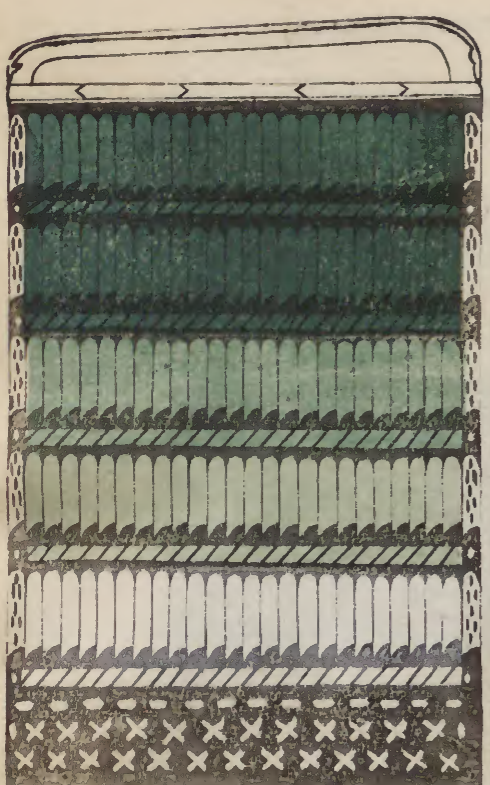
古き物かきつりしにその名ゆえぬれや  
地乃いろをわき肩一白のれと  
そのきつりのめをぬれぬはまき  
きすは祝も何しや

1

肩勾赤威



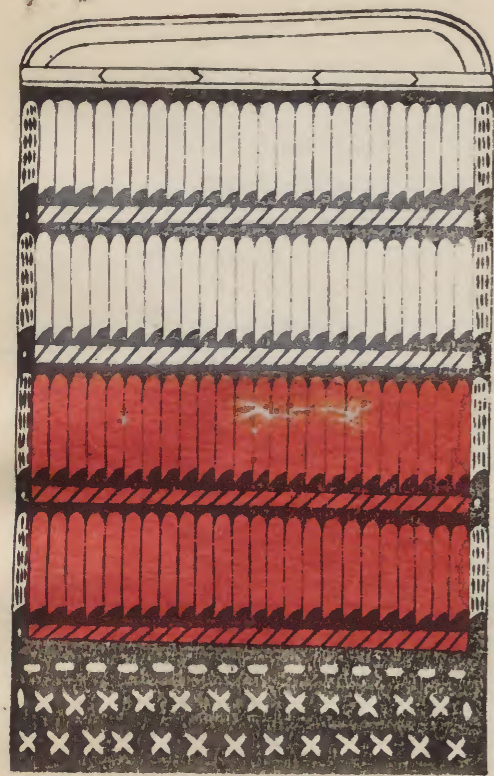
木勾綴



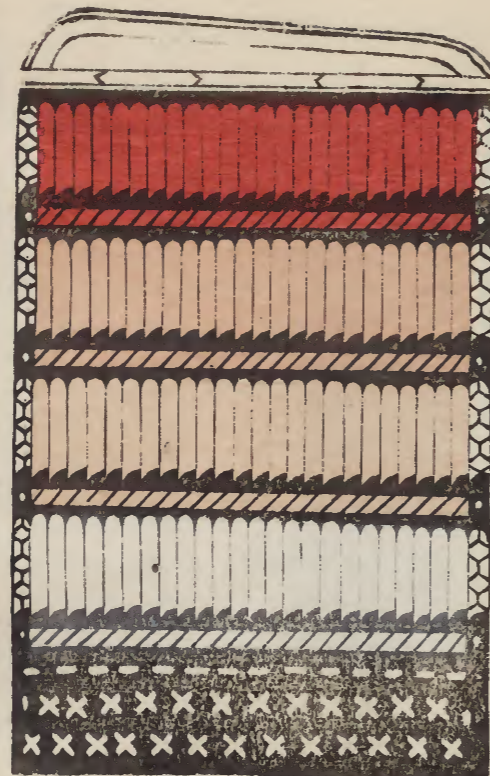
此物も古き物かきつりしにその名ゆえぬれや  
地乃いろをわき肩一白のれと  
そのきつりのめをぬれぬはまき  
きすは祝も何しや

白の西色より次々にうすくうすく  
れし果は白を色 至るし 香き力  
潤きよたつし  
みよほひきよよりも下よりもよほりん  
ぬれぬれういとうすくくくくくく  
りたよ白乃毛を相じしたるすすきり  
まのぬれぬれきれハの圓はまき  
きすは祝も何しや

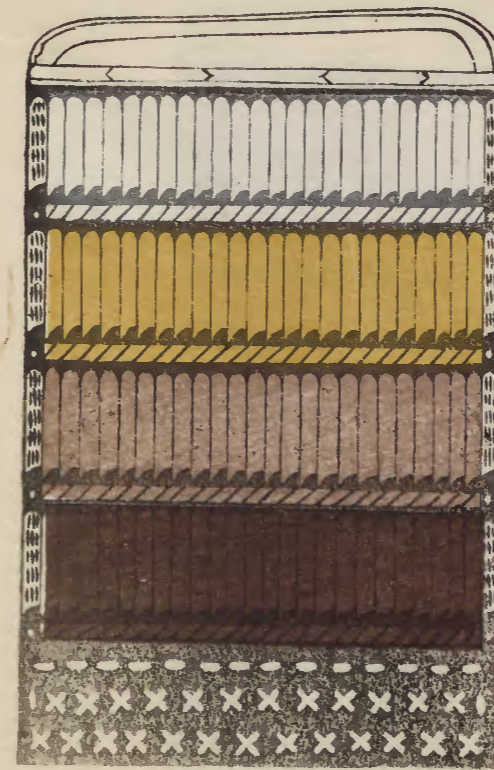




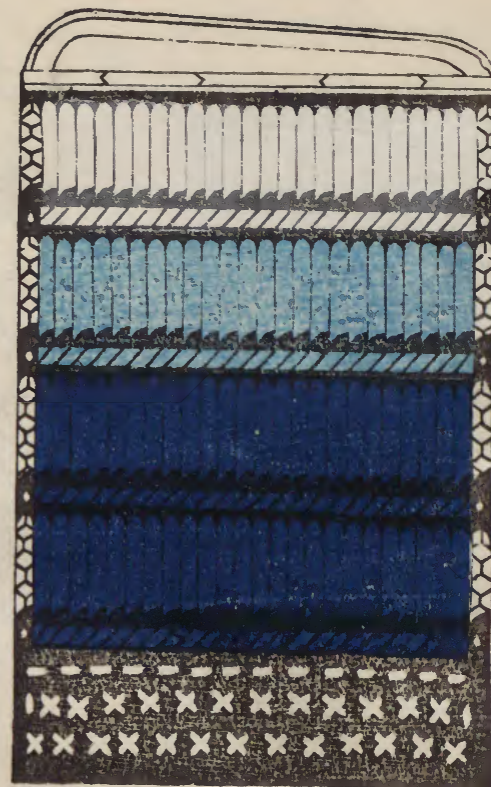
同上  
目



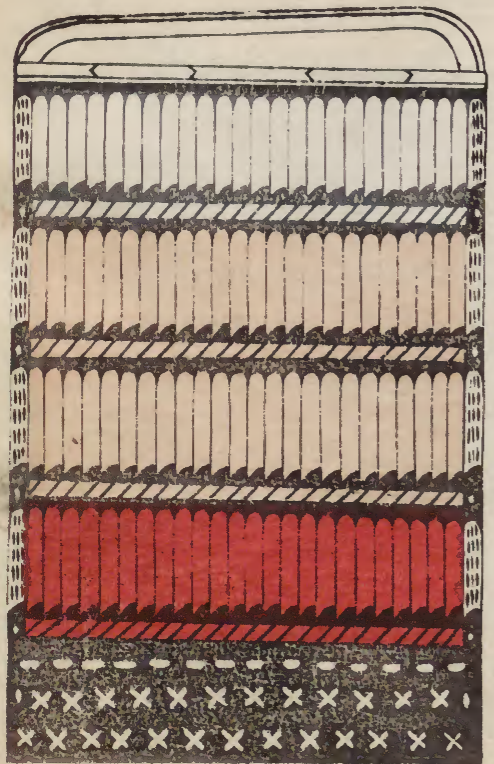
同上  
目



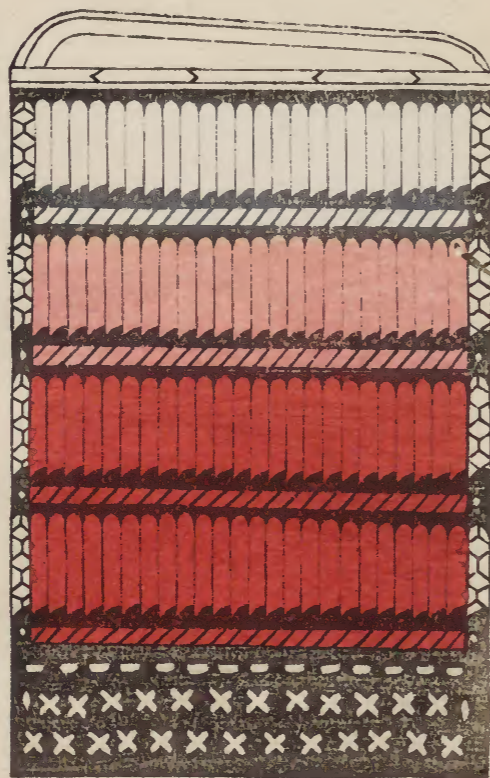
同上  
日光大師繪



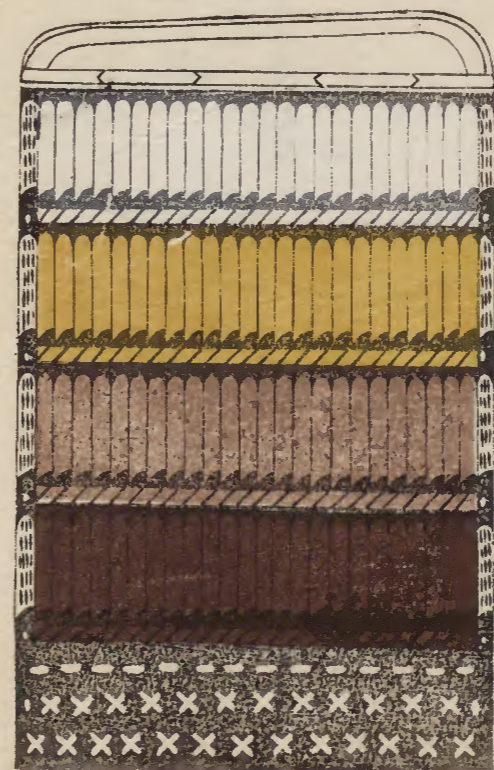
色いろくくふふひひりり  
色いろくくふふひひりり  
威い



同上  
目



同上  
目



同上  
後三年

あきりやましくむる上下のたむけも  
よほりけりあはれは右のたむけも  
赤らふとくつしはしめ





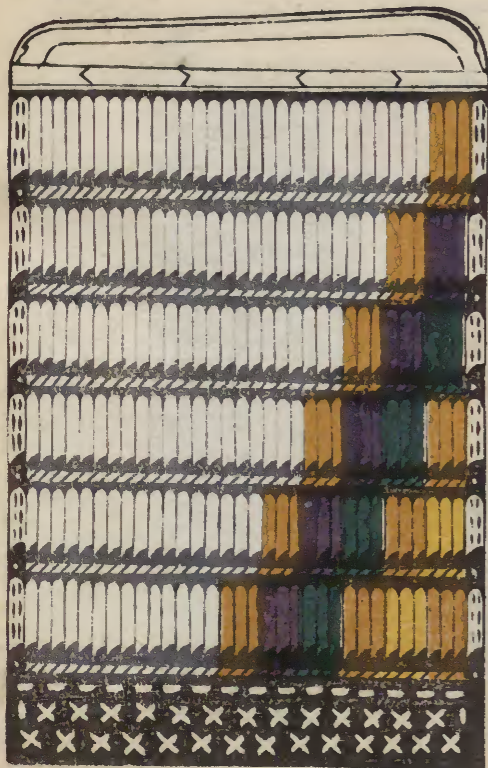
同上

△同藏草摺の前板右の妻之  
左伝まじ相對す



肩かた異色いろちがひ織おこし

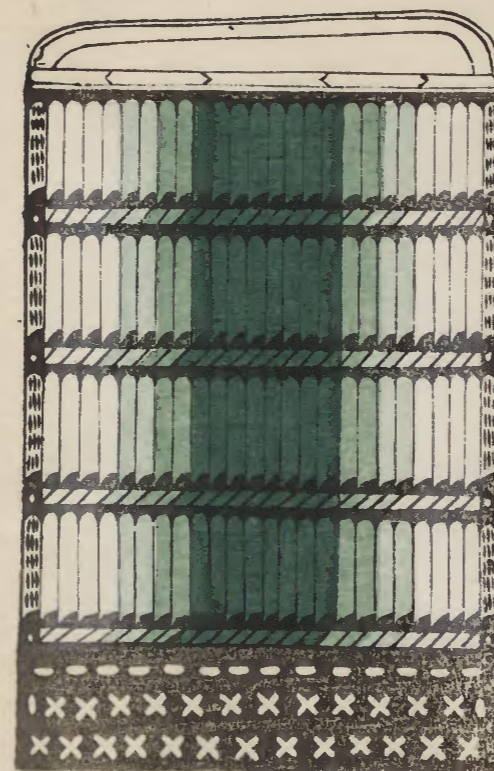
△山城鞍馬寺所蔵  
白糸威之袖



同上

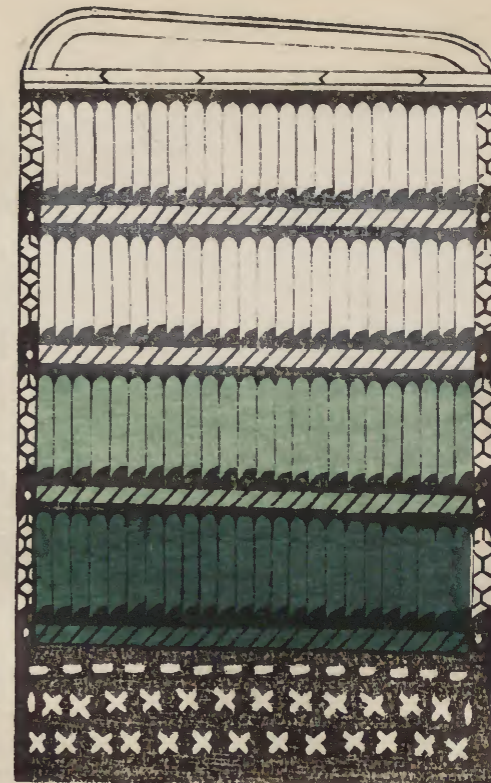
△同藏二領之内一領ハ後板  
聊異之依了爰ニ出ず

此名目古きよは見えしといふこと  
古物又古きよは見えしといふこと  
さすよ出ずす



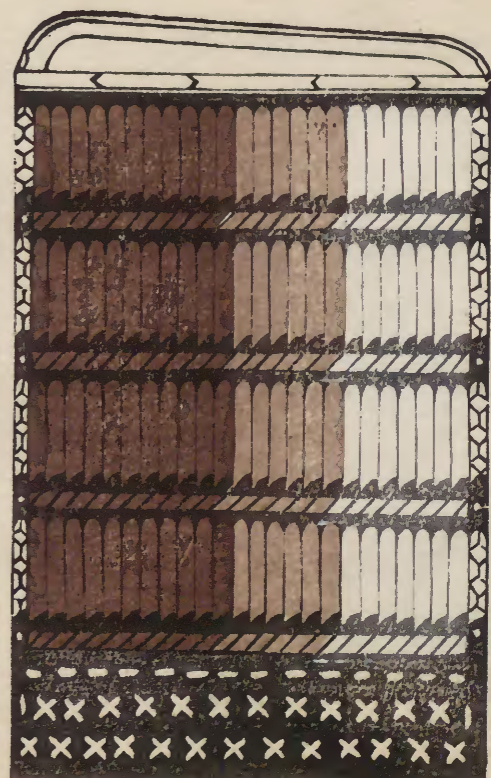
同上

一説



同上

大須磨



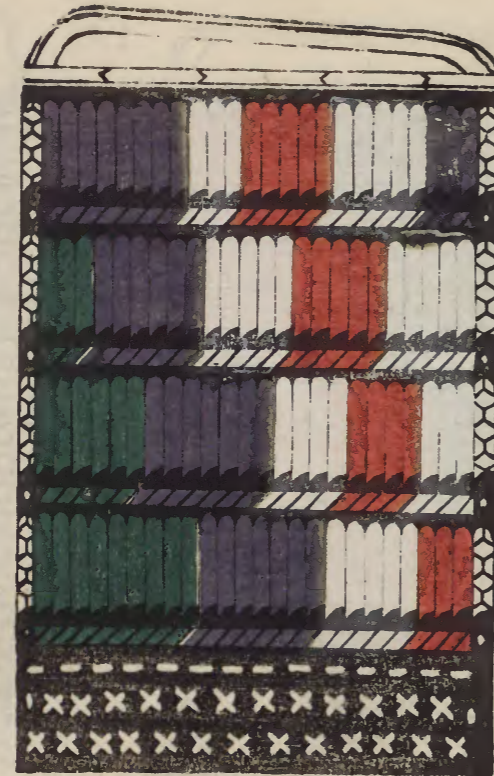
同上

或家平治西





同上  
日



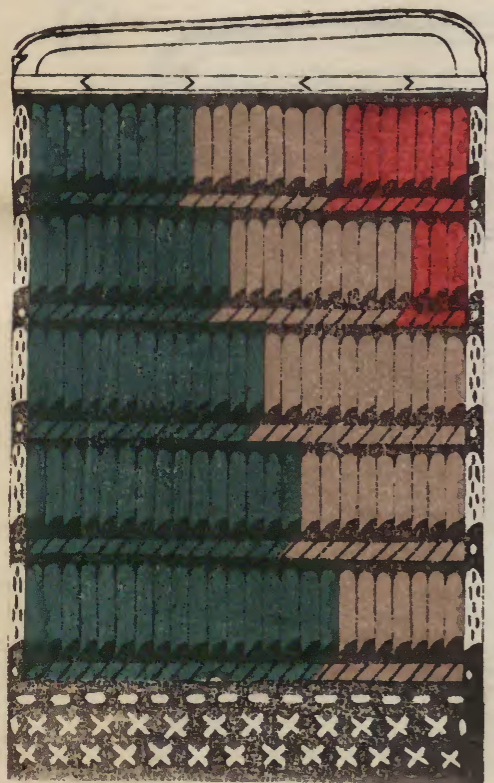
同上  
後三年



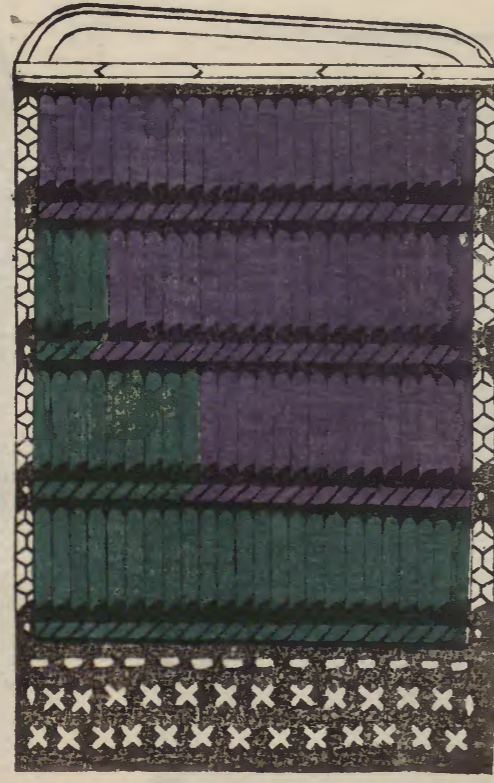
同上  
春日社蔵古鏡



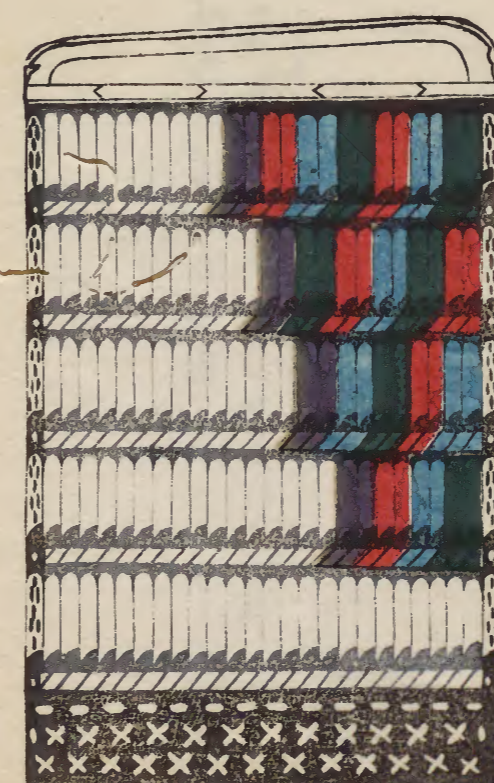
同上  
同蔵



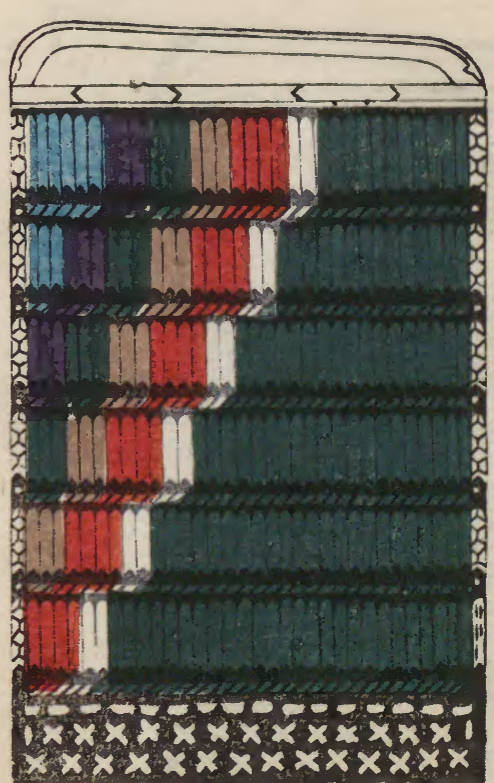
同上  
蒙古



同上  
日



同上  
清多古

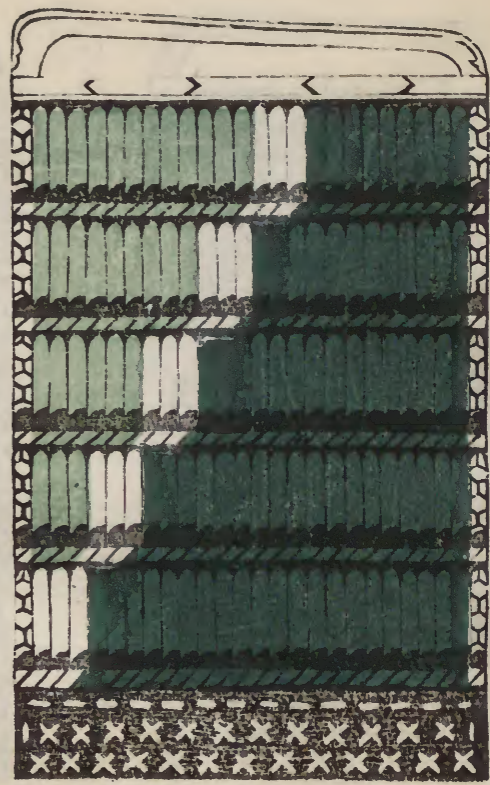


同上  
徳田三島社蔵  
古子何乙



同上

伴大納言

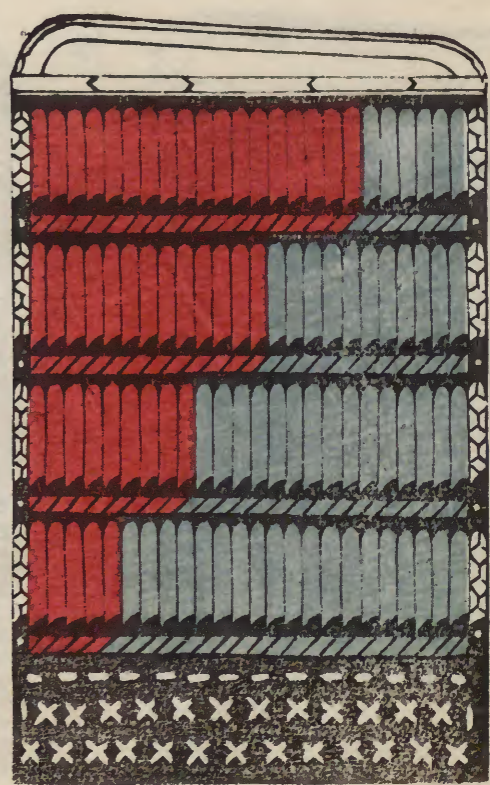


同上 同

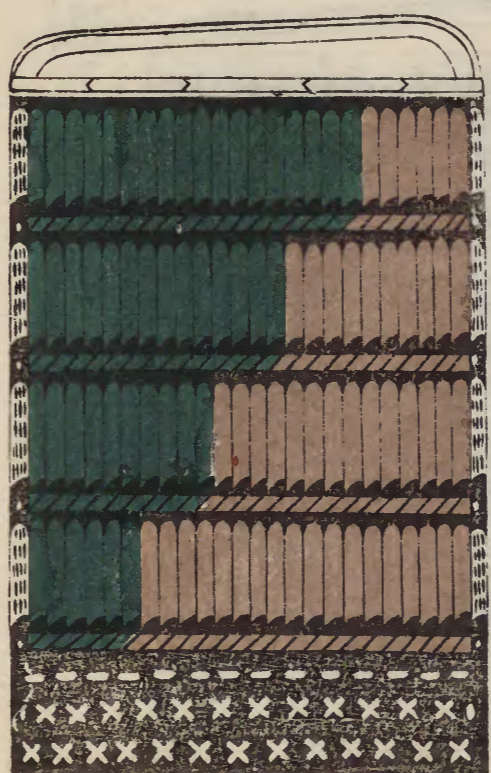


同上

前九年

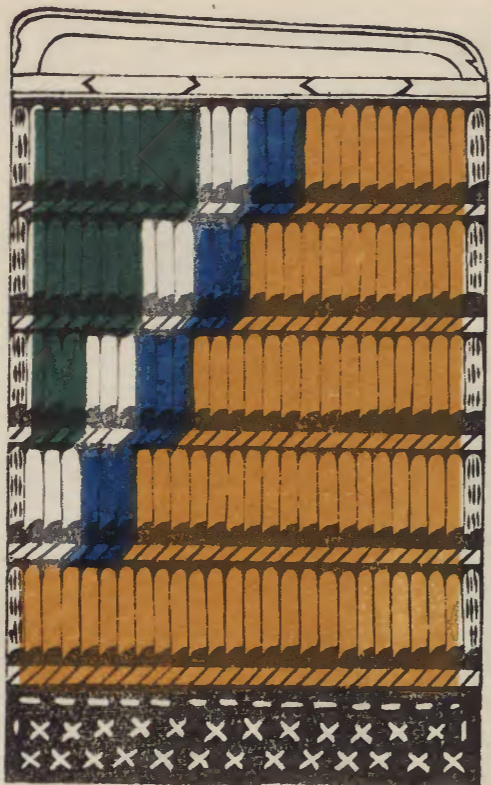


同上 同



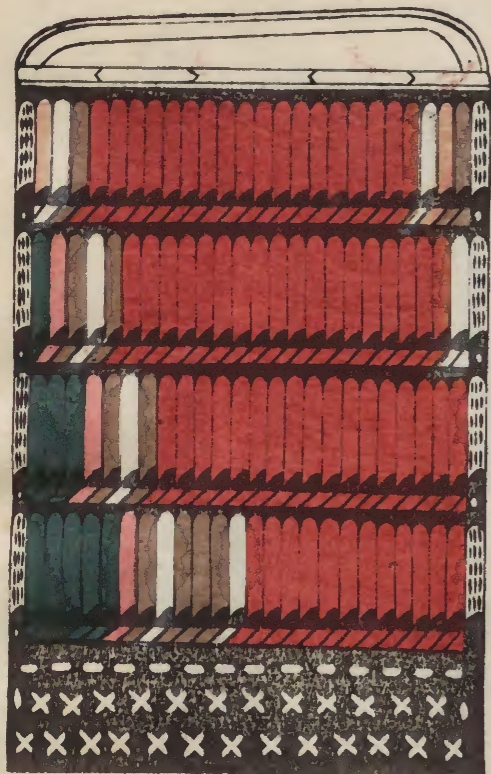
同上

蒙古



妻肩勾織

後三年

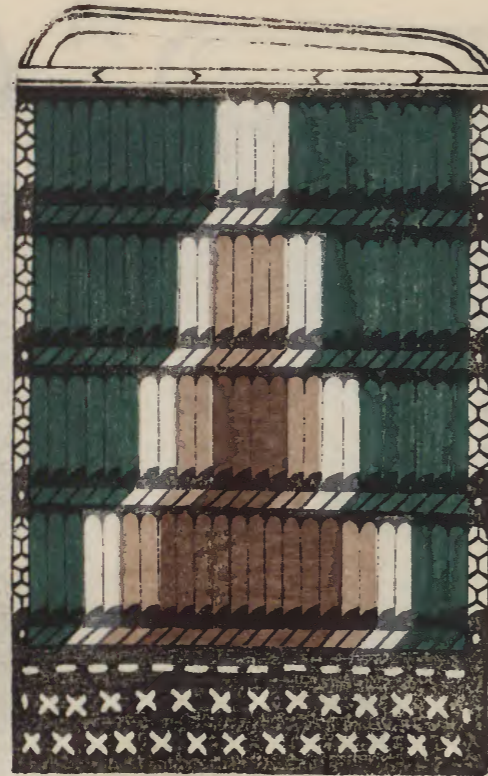


此名は古くきやえされども古あま  
見まし西へ蒙ふはりいりくおま  
そて妻肩と互よ勾りまらり  
從も何るよや  
又互勾威と云へ可段五音たとしと  
得り終すといふと  
少えり





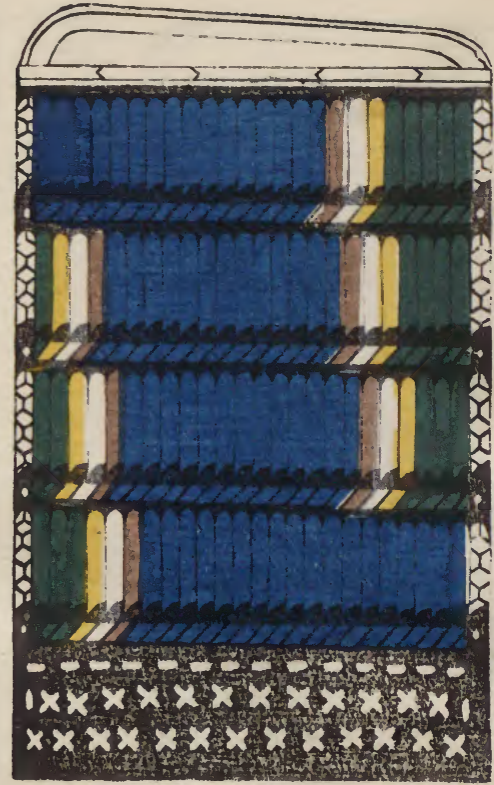
同上  
日



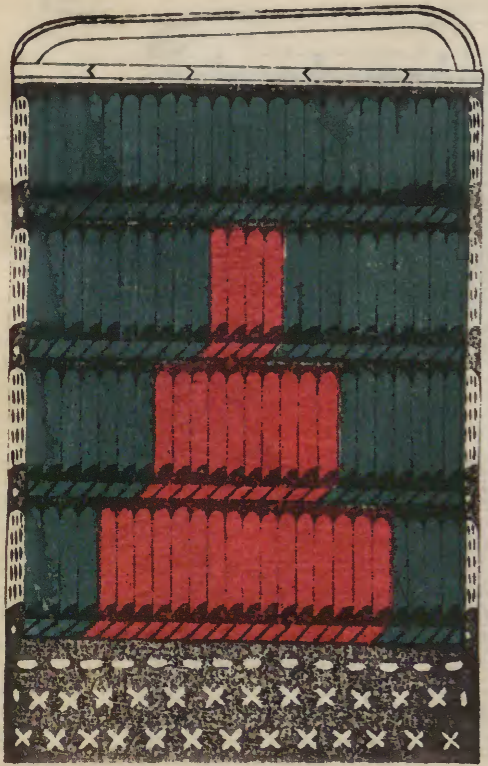
澤<sup>水たう</sup>深威  
後三年



同上  
蒙古



同上  
考日



同上  
蒙古

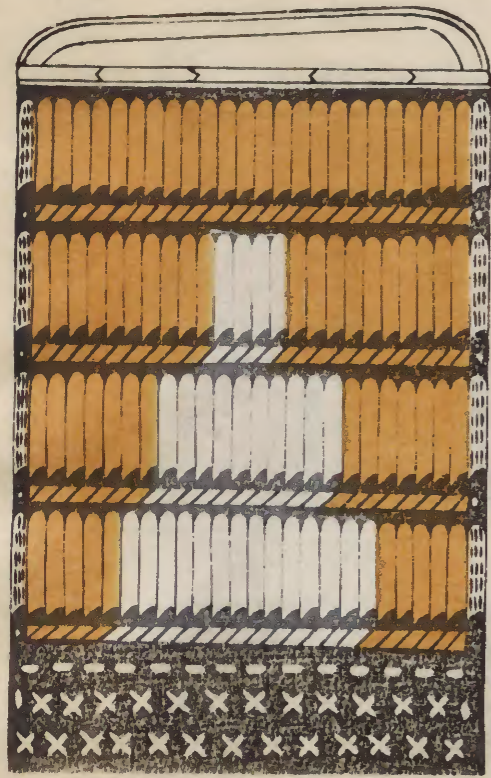


同上  
考日

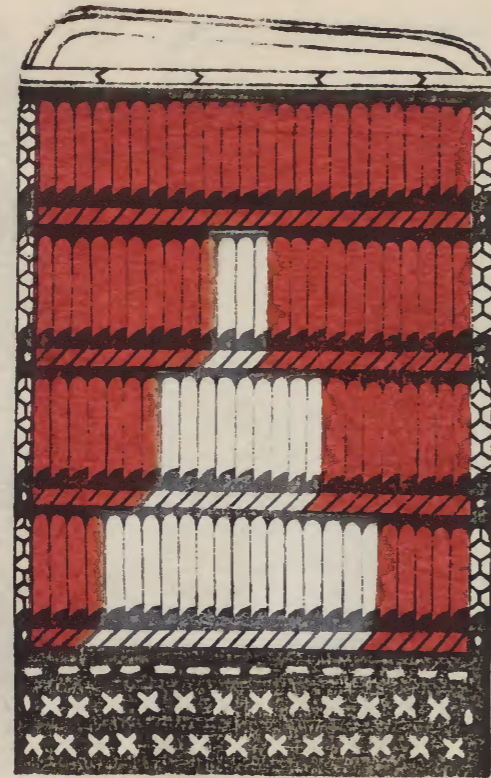


同上  
日





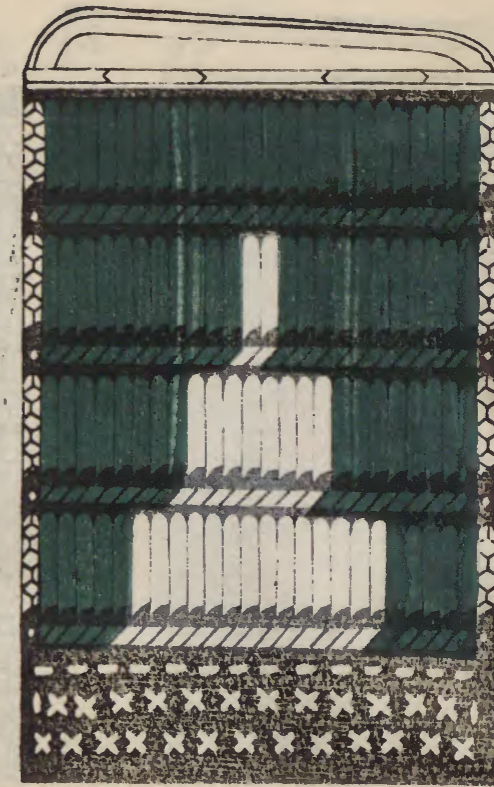
同上  
日



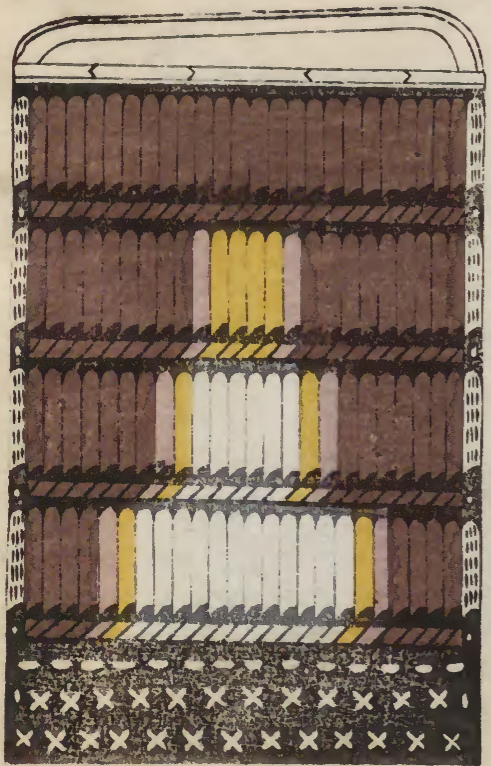
同上  
日



同上  
春日社藏古鏡



同上  
或家平治西



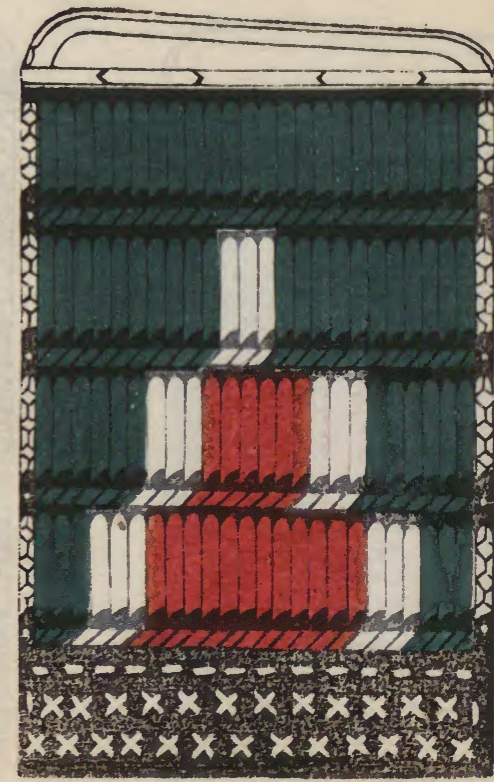
同上  
或家平治西



同上  
保元平治

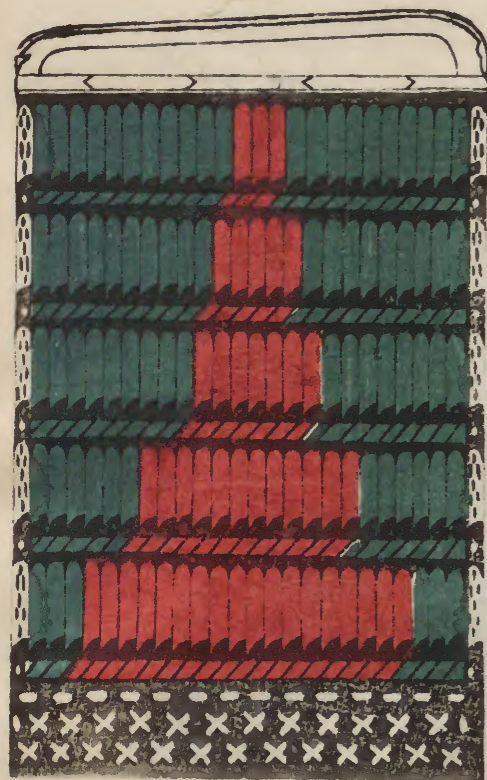


同上  
日光

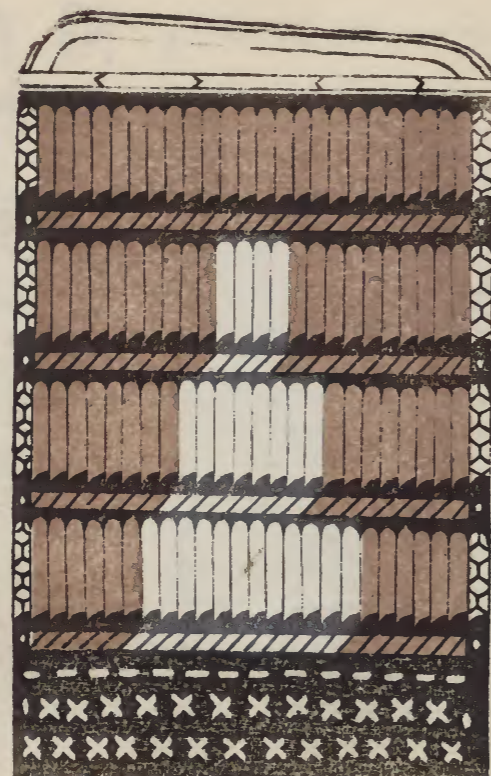


同上  
日



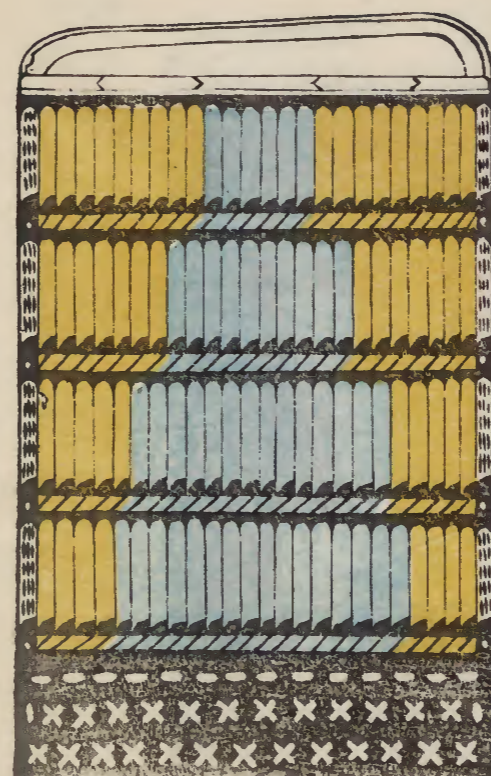


同上  
目



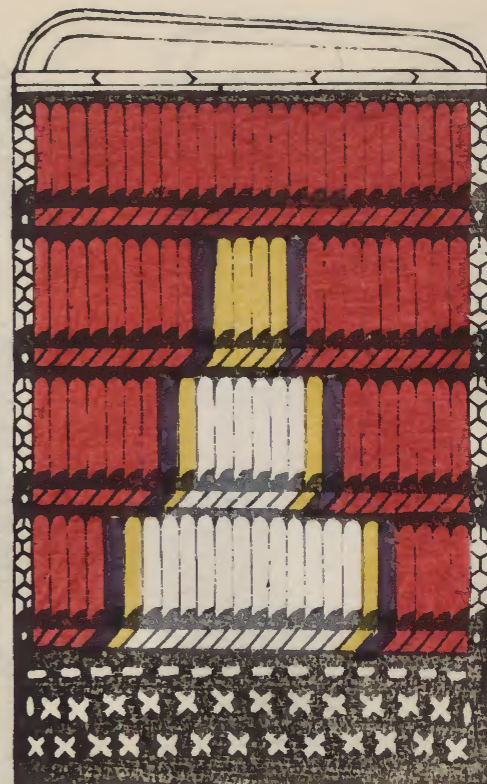
同上

土佐光信画平治



同上

後三年



同上  
同



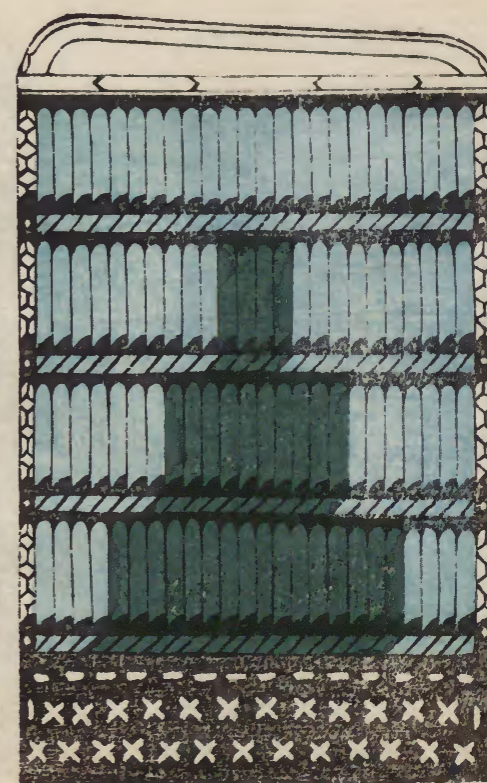
同上

蒙古



同上

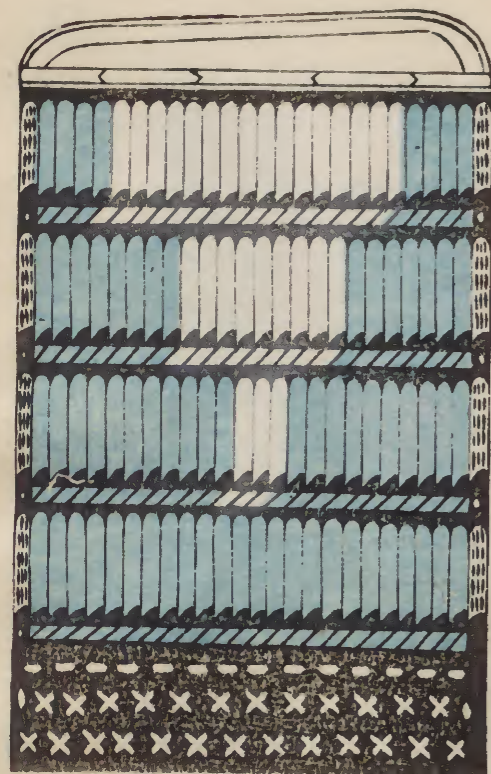
目



同上

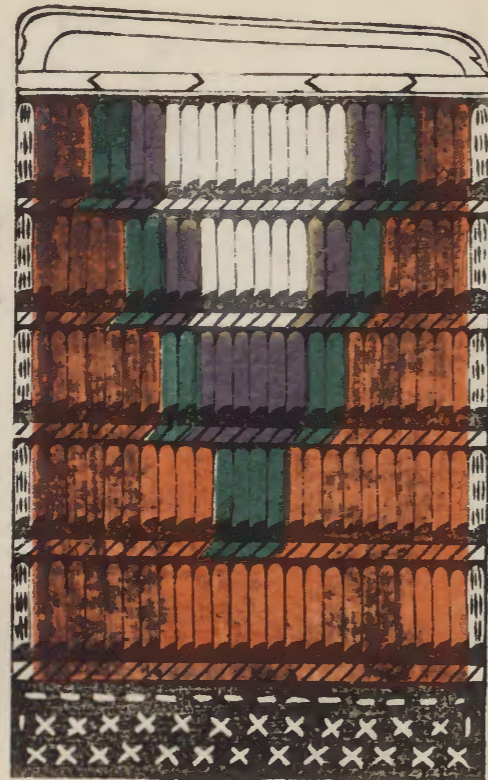
保元平治





同上

保元  
平治  
十畧



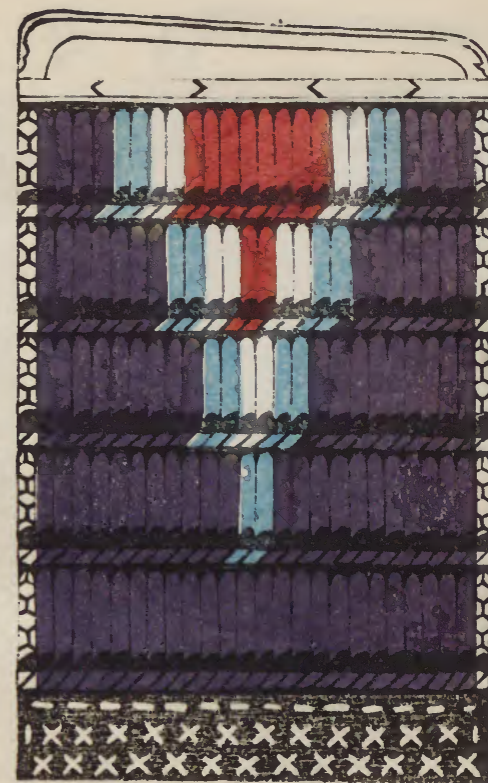
同上

日



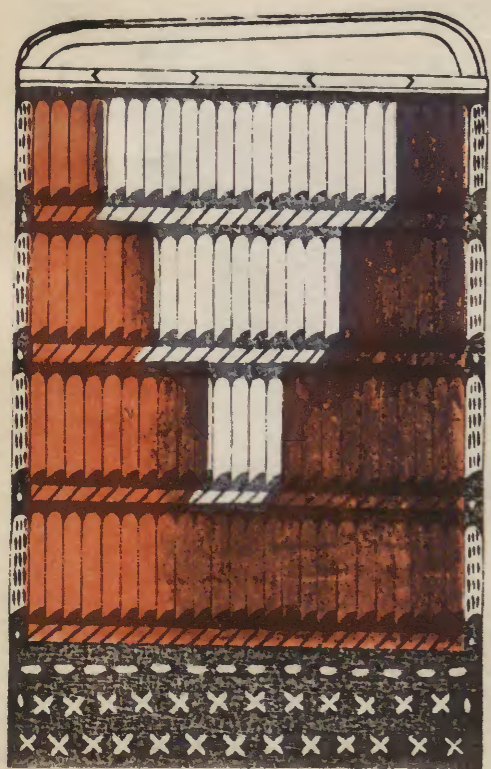
同上

日



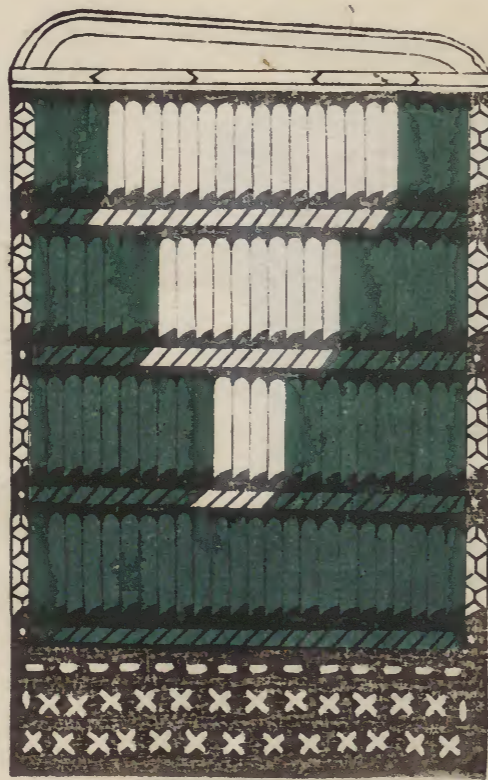
さうたのたりのおろし  
逆剪草織

蒙古



同上

保元  
平治



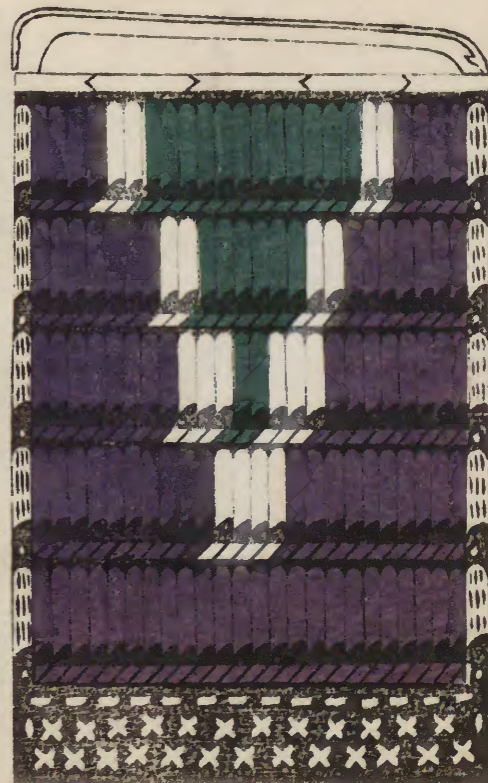
同上

日光



同上

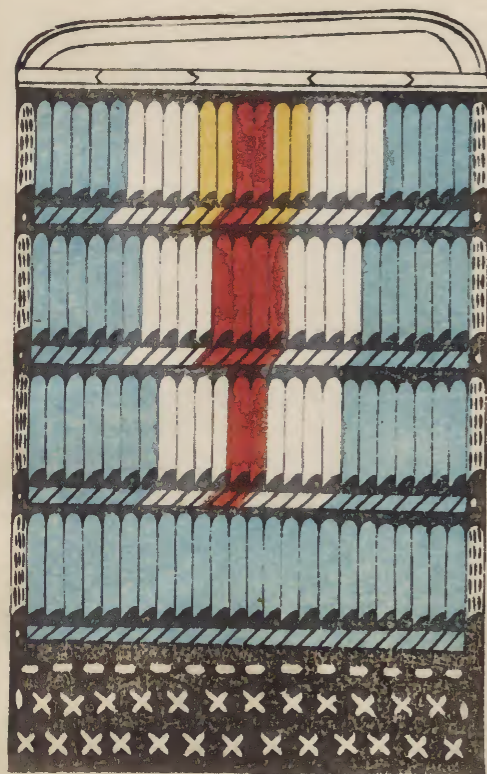
日



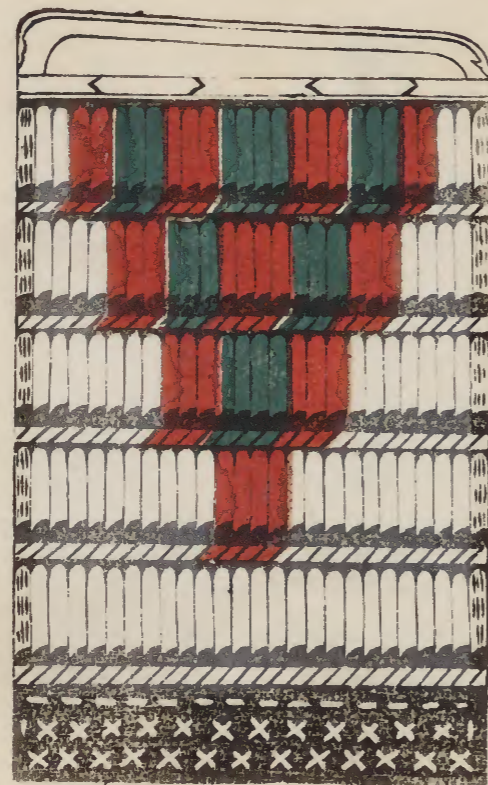
同上

日

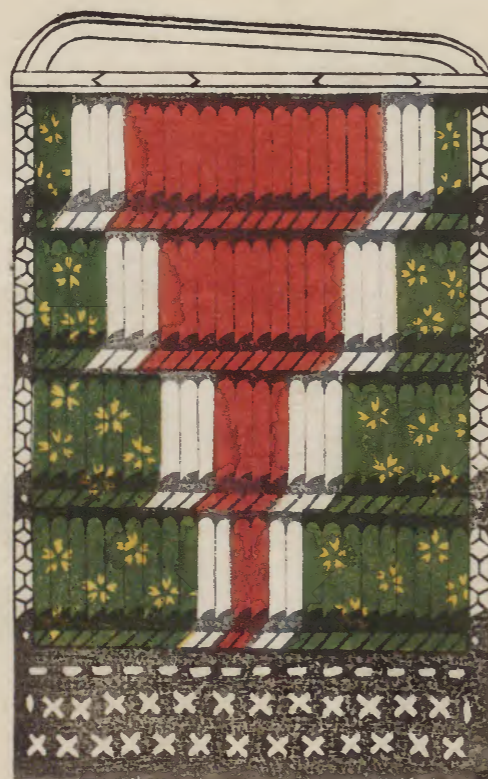




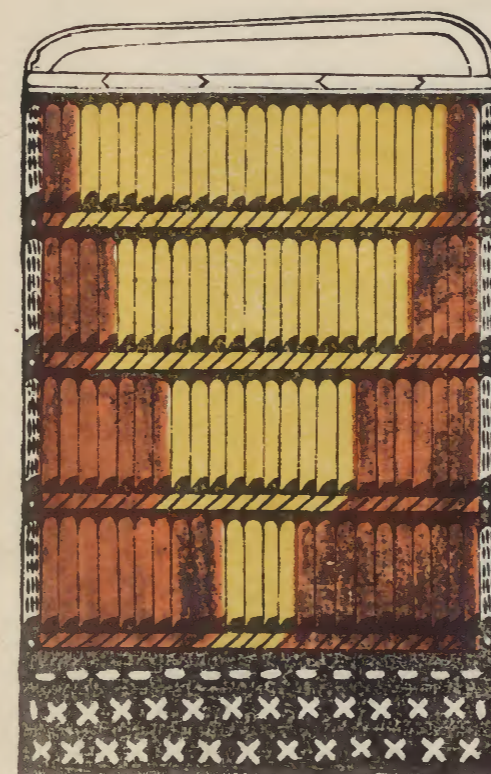
同上  
春日



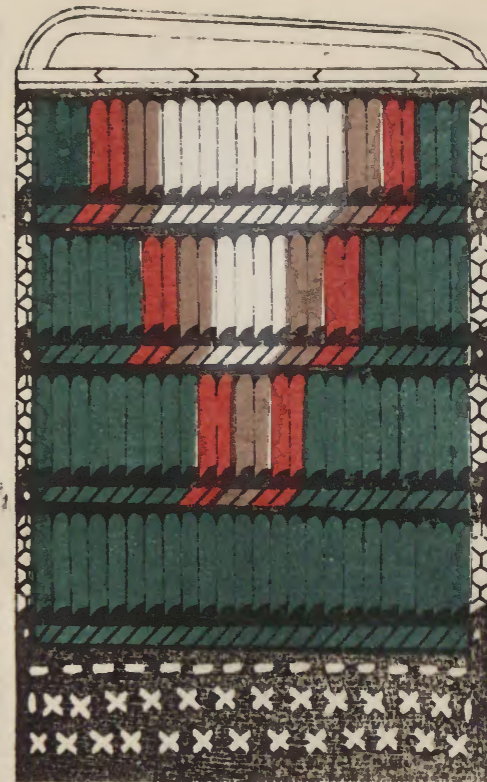
同上  
日



同上  
日



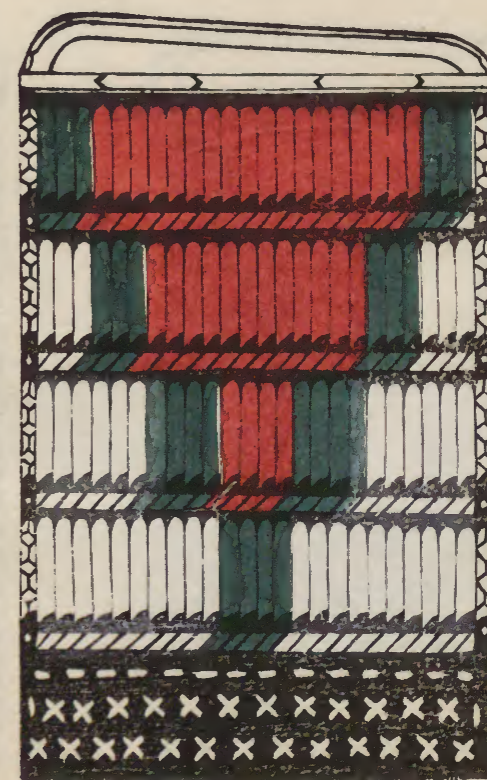
同上  
保元平治画



同上  
春日



同上  
後三年



同上  
後三年



鎧色一覽上卷終



